Nikon

ニコンデジタルカメラ

COOLPIX S51

クールピクス S51

使用説明書

Jp

商標説明

- Microsoft、Windows、Windows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OS、QuickTimeは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDロゴおよびPictBridgeロゴは商標です。
- Pictmotionはmuvee Technologies社の技術によるものです。
- ImageLinkおよびImageLink print systemのロゴは米国Eastman Kodak Companyの登録商標です。
- D-ライティングはアピカル社の技術によるものです。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。
この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠**危険**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。**
⚠**警告**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠**注意**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。**

お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例	
	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告（カメラについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
電池を取る すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
発光禁止	**車の運転者等にむけてフラッシュを発光しないこと** 事故の原因となります。
発光禁止	**フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと** 視力障害の原因となります。 特に乳幼児を撮影する時は1 m以上離れてください。
保管注意	**幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだときは、直ちに医師にご相談ください。
警告	**指定の電池または専用ACアダプターを使用すること** 指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。
使用禁止	**ACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠ 注意（カメラについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
保管注意	**製品は、幼児の手の届かない所に置くこと** ケガの原因になることがあります。
保管注意	**使用しないときは、電源をOFFにしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること** 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
移動注意	**三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと** 転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。
使用注意	**飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従うこと** 本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。 病院で使う際も、病院の指示に従ってください。
電池を取る プラグを抜く	**長期間使用しないときは電源（電池やACアダプター）を外すこと** 電池の液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。 ACアダプターをご使用の際には、ACアダプターを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
発光禁止	**内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと** やけどや発火の原因となることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。
放置禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと** 内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
禁止	**付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと** 機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼすことがあります。

⚠危険
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	**電池をショート、分解しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**専用の充電器を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
使用禁止	**Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL8は、ニコンデジタルカメラ専用の充電池で、COOLPIX S51に対応しています。EN-EL8に対応していない機器には使用しないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
危険	**ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと** ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。 持ち運ぶときは端子カバーをつけてください。
危険	**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠警告
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

保管注意	**電池は幼児の手の届かないところに置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。万一飲み込んだときは、直ちに医師にご相談ください。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
使用禁止	**変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめること** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただくか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。
警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠注意
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

注意	**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠警告
（バッテリーチャージャーについて）

分解禁止	**分解したり修理・改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
プラグを抜く すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電源プラグを抜く際、やけどに充分注意してください。ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
使用禁止	**雷が鳴り出したら電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
警告	**電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布で拭き取ること** そのまま使用すると火災の原因になります。
感電注意	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと** 感電の原因になることがあります。
禁止	**電源コードを傷つけたり加工したりしないこと** **また、重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、むりに曲げたりしないこと** 電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。

⚠注意
（バッテリーチャージャーについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
放置注意	**製品は、幼児の手の届かない所に置くこと** ケガの原因になることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

目次

使用説明書について

ニコンデジタルカメラCOOLPIX S51をお買い上げくださいまして、まことにありがとうございます。

お使いになる前に、この使用説明書をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

●本文中のマークについて

カメラの故障を防ぐために、使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。

カメラを使用するときに、便利な情報を記載しています。

カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。

関連情報を記載した参照ページを記載しています。

●表記について

- SDメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- 液晶モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[ ] で囲って表記しています。

●画面例について

本書では、液晶モニター上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。

●本文中のイラストについて

本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。

内蔵メモリーとSDメモリーカードについて

本機は、内蔵メモリーとSDメモリーカードの両方に対応しています。SDメモリーカードをカメラにセットしているときは、SDメモリーカードが優先して使用されます。内蔵メモリーを使用して、撮影、再生、削除、初期化などの操作をするときは、SDメモリーカードをカメラから取り出してください。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

●カスタマー登録

下記のホームページからカスタマー登録が行えます。

https://reg.nikon-image.com/

付属の「登録のご案内」に記載されている登録コードをご用意ください。

●カスタマーサポート

下記のホームページでサポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、ACアダプターなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL8には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のLi-ionリチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が出せないことや、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。

- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●使用説明書について

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、下記のホームページから使用説明書のPDFファイルをダウンロードすることができます。

  http://www.nikon-image.com/jpn/support/manual/

  ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

●著作権についてのご注意

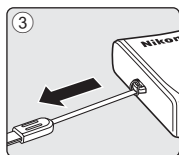
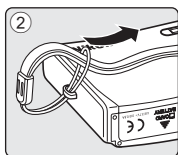
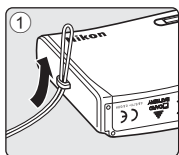
あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー（SDカード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。
メモリーを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、「オープニング画面」の「撮影した画像」（◙104）も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

●ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、ラジオやテレビの近くでお使いになると、受信障害を引き起こすことがあります。
使用説明書にしたがって正しくお取り扱いください。

各部の名称

マイク（51、61、67）

電源スイッチ（20）

電源ランプ（20、112）

シャッターボタン（24）

（フェイスクリアー）ボタン（42）
（D-ライティング）ボタン（48）

レンズ（121、134）

セルフタイマーランプ（30、123）
AF補助光（29、35、111、123）

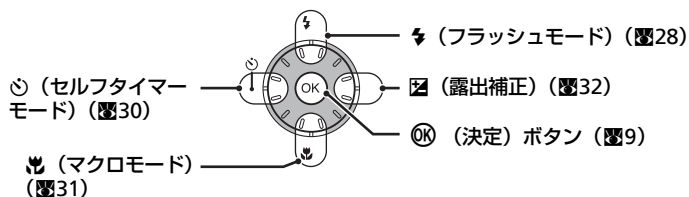
内蔵フラッシュ（28）

ストラップ取り付け部

レンズ収納時

レンズバリアー

ストラップの取り付け方

ロータリーマルチセレクター（9）

- （フラッシュモード）（28）
- （露出補正）（32）
- Ⓚ（決定）ボタン（9）
- （セルフタイマーモード）（30）
- （マクロモード）（31）

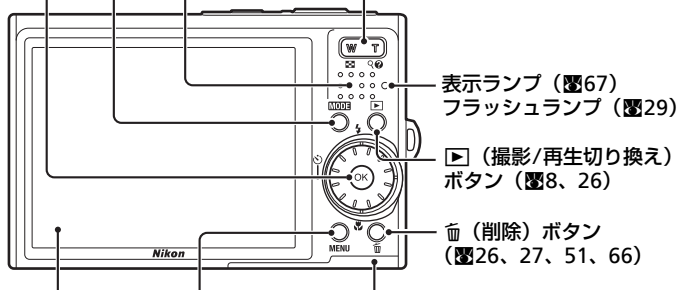
MODE（モード）ボタン（8）

スピーカー（51、66、69）

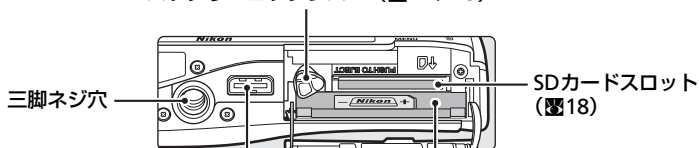
ズームボタン（22）
- **W**：広角ズーム（22）
- **T**：望遠ズーム（22）
- ：サムネイル表示（44）
- ：拡大（46）
- ：ヘルプ（11）

表示ランプ（67）
フラッシュランプ（29）

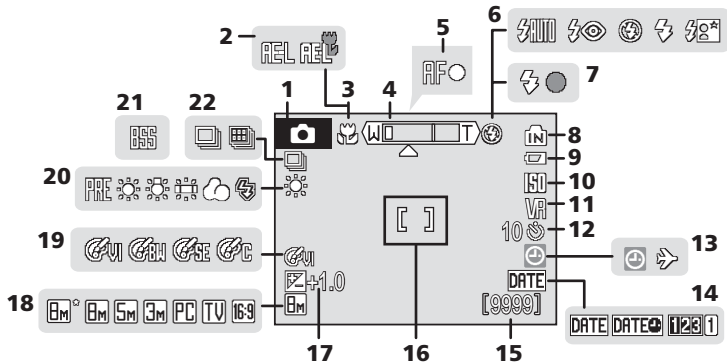
（撮影/再生切り換え）ボタン（8、26）

（削除）ボタン（26、27、51、66）

液晶モニター（6）

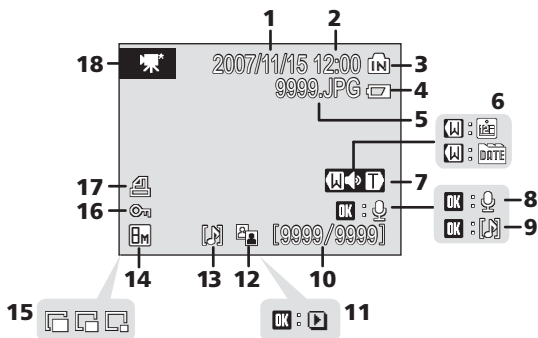
MENU（メニュー）ボタン（10、87、96）

バッテリー /SDカードカバー（14、18）

液晶モニターの表示内容

説明のため、すべての表示を点灯させています。

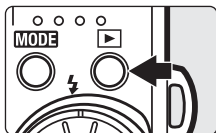
撮影時

1	撮影モード※	20、33、34、42、61
2	AE-L表示	41
3	マクロモード	31
4	ズーム表示	22、31
5	AF表示	24
6	フラッシュモード	28
7	フラッシュ表示	29
8	内蔵メモリー表示	21
9	バッテリー残量	20
10	ISO感度表示	29、93
11	手ブレ補正表示	111
12	セルフタイマー	30
13	時計マーク ワールドタイム	125 105
14	デート写し込み	109
15	記録可能コマ数（静止画） 記録可能時間（動画）	20 61
16	AFエリア	24、94
17	露出補正値	32
18	画像モード	87
19	ピクチャーカラー	93
20	ホワイトバランス	89
21	BSS	92
22	連写モード	91

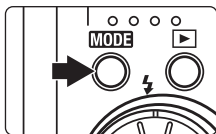
※ 撮影モードによって表示されるアイコンが異なります。各撮影モードを参照してください。

再生時

1	撮影日..16	10	画像の番号/全画像数................ 26 動画の再生時間......................... 66
2	撮影時刻.....................................16	11	動画再生ガイド......................... 66
3	内蔵メモリー表示........................ 26	12	D-ライティング済み表示.......... 48
4	バッテリー残量..........................20	13	音声メモ表示............................ 51
5	ファイル名.............................. 119	14	画像モード................................ 87
6	カレンダー/ 撮影日一覧ガイド.............52、53	15	スモールピクチャー................. 50
7	音量..................................51、66	16	プロテクト表示......................... 99
8	音声メモガイド（録音）............51	17	プリント指定表示...................... 83
9	音声メモガイド（再生）............51	18	動画モード※.................................. 66

※ 撮影時の動画設定によって、表示されるアイコンが異なります。

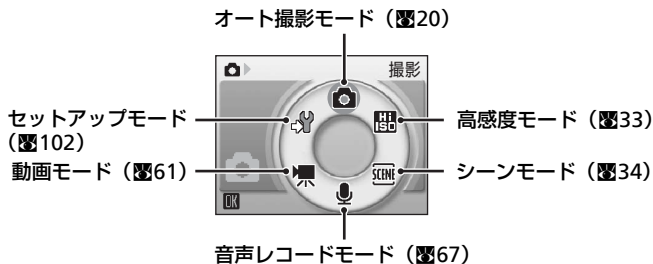
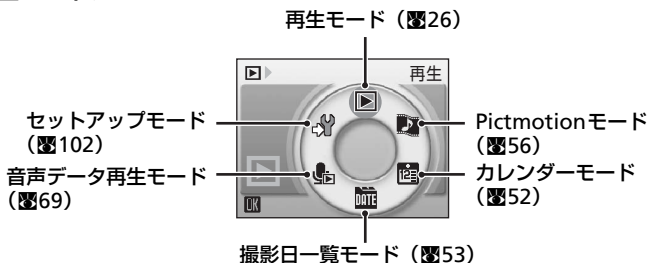
主なボタン操作とヘルプの使い方

▶（撮影/再生切り換え）ボタン

- 撮影モードで ▶ ボタンを押すと再生モードに、再生モードで押すと撮影モードに切り換わります。再生モードでは、シャッターボタンを半押ししても撮影モードに切り換わります。
- 電源がOFFの状態で▶ボタンを押し続けると、1コマ再生モード（26）で電源がONになります。

MODE（モード）ボタン

撮影時に MODE ボタンを押すと撮影モードメニューが表示され、再生時に押すと再生モードメニューが表示されます。撮影/再生モードメニューの各モードを選ぶには、ロータリーマルチセレクターを使います（9）。

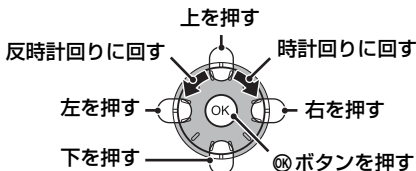
- ▶ボタンを押して、撮影モードメニューと再生モードメニューを切り換えることができます。

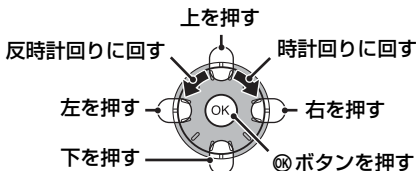
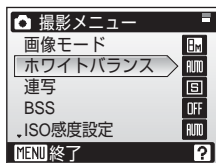
撮影モードメニュー

オート撮影モード（20）
撮影
セットアップモード（102）
高感度モード（33）
動画モード（61）
シーンモード（34）
音声レコードモード（67）

再生モードメニュー

ロータリーマルチセレクター

ロータリーマルチセレクターは、回転部と中央部の ⓚ ボタンから構成されています。メニューや画像を選ぶには、回転部の上下左右を押す方法と、回転部を回す方法がありますが、回転部を回す方が素早く操作できるため、特にメニュー項目や画像枚数が多いときに便利です。
ここでは、モードの決定や、メニューを選択して決定するときのロータリーマルチセレクターの代表的な使い方について説明します。

撮影/再生モードメニューで使う

- カーソルを時計回りに移動するには　：時計回りに回す/下を押す/右を押す
- カーソルを反時計回りに移動するには：反時計回りに回す/上を押す/左を押す
- モードを決定するには　：ⓚ ボタンを押す

メニュー画面で使う

- カーソルを上方向に移動するには　：反時計回りに回す/上を押す
- カーソルを下方向に移動するには　：時計回りに回す/下を押す
- メニューを決定するには　：ⓚ ボタンを押す/右を押す
- 設定をやめて前の画面に戻るには　：左を押す

ロータリーマルチセレクターの使い方の記載について

- ロータリーマルチセレクターは複数の操作が可能なため、各操作説明では具体的に記載していません。注意が必要と思われる場合だけ、「▶ を押す」など具体的な操作を記載しています。
- 操作説明では、上下左右部分を ▲▼◀▶ と記載しています。

MENU（メニュー）ボタン

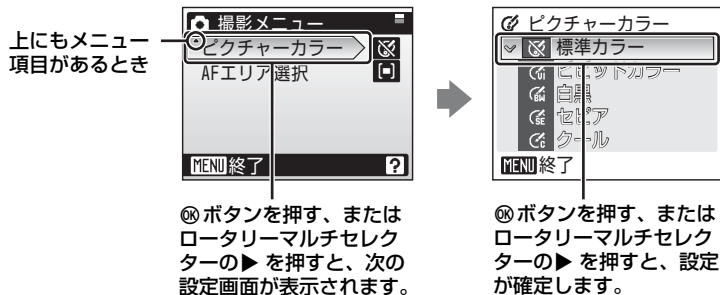
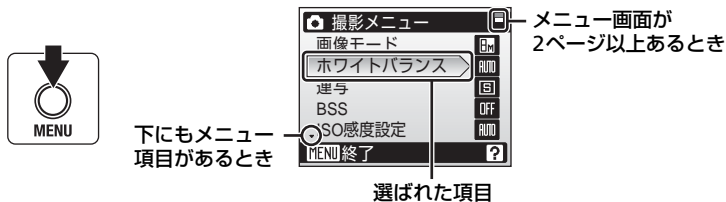
MENUボタンを押すと、選んでいるモードに応じて以下のメニューが表示されます。ロータリーマルチセレクターを使って、メニューを設定します（9）。

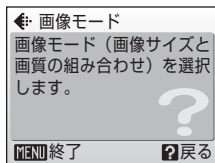
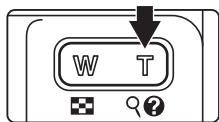
- 撮影メニュー（86）
- 高感度メニュー（86）
- シーンメニュー（34）
- フェイスクリアーメニュー※1（43）
- 動画メニュー（62）
- 再生メニュー（96）
- カレンダーメニュー（55）
- 撮影日一覧メニュー（55）
- プリントメニュー※2（80）
- セットアップメニュー※3（102）

※1 フェイスクリアーメニューを表示するには、ボタンを押してフェイスクリアーモードに入り、MENUボタンを押します。

※2 カメラとPictBridge対応プリンターを接続して［プリント画像選択］画面を表示させ、MENUボタンを押すとプリントメニューが表示されます。

※3 撮影モードメニューまたは再生モードメニューで を選んで ボタンを押すと、セットアップメニューが表示されます。

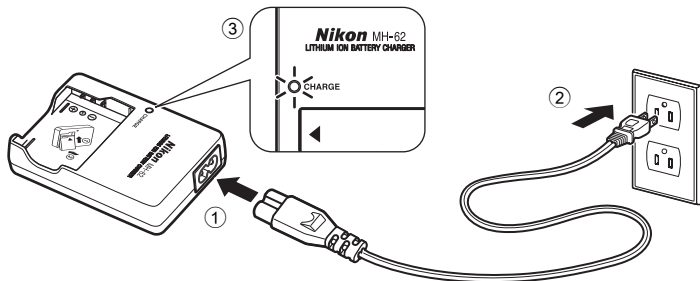
ボタンを押す、またはロータリーマルチセレクターの▶ を押すと、設定が確定します。

ヘルプの表示方法

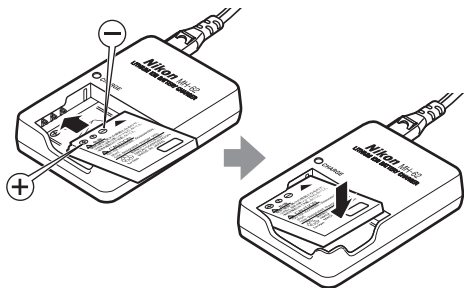
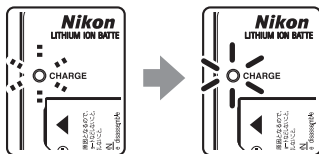
メニュー画面で**T**（❓）ボタンを押すと、選択中の項目に関するヘルプ（簡単な説明）が表示されます。

- 元のメニュー画面に戻るには、もう一度 **T**（❓）ボタンを押します。
- MENUボタンを押すと、撮影または再生に戻ります。

バッテリーを充電する

ご購入直後やバッテリー残量が少なくなったときは、付属のリチャージャブルバッテリー EN-EL8（リチウムイオン充電池）を、付属のバッテリーチャージャー MH-62（充電器）で充電してください。

1 バッテリーチャージャーの電源コードを接続する

- 電源コードのACプラグをACプラグ差込み口に①、電源プラグをコンセントに差し込みます②。CHARGEランプが点灯して、通電中であることをお知らせします③。

2 リチャージャブルバッテリーを充電する

- リチャージャブルバッテリーをバッテリーチャージャーにセットします。

- CHARGEランプが点滅し、充電が始まります。CHARGE ランプが点灯したら、充電完了です。
- 残量がないバッテリーの場合、充電時間は約2時間です。

CHARGE ランプの状態と意味は次のとおりです。

CHARGEランプ	意味
点滅	バッテリーは充電中です。
点灯	バッテリーの充電が完了しました。
速い点滅	• 使用可能な温度ではありません。室温（5 ℃～ 35 ℃）で充電してください。 • バッテリーの異常です。ただちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。バッテリーおよびバッテリーチャージャーはご購入店やニコンサービス機関にお持ちください。

3 充電が完了したら、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外し、電源プラグをコンセントから抜く

バッテリーチャージャーについてのご注意

- 付属のバッテリーチャージャーは、ニコンLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL8以外には使用できません。
- バッテリーチャージャーをお使いになるときは、「安全上のご注意」の「警告」（v）、「注意」（v）の注意事項を必ずお守りください。
- バッテリーチャージャーの電源コードは MH-62 以外の製品には接続しないでください。この電源コードは日本国内専用（AC100V対応）です。日本国外でお使いになるには、別売の専用コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。
  また、オンラインショップ（ニコンダイレクト）http://shop.nikon-image.com/ でもお求めいただけます。

バッテリーについてのご注意

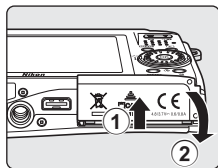
- リチャージャブルバッテリーをお使いになるときは、必ず「安全上のご注意」の「危険」（iv）、「警告」（iv）、「注意」（iv）の注意事項をお守りください。
- 「取り扱い上のご注意 バッテリーについて」（123）を良くお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。

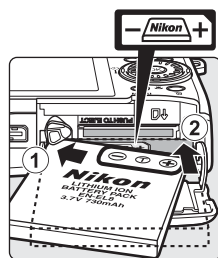
AC電源について

- 別売のACアダプター EH-64を使用すると、家庭用コンセント（AC100V）からCOOLPIX S51へ電源を供給できます。EH-64以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。
- ACアダプターとカメラに付属のオーディオビデオ/USBケーブルは同時に使えません。

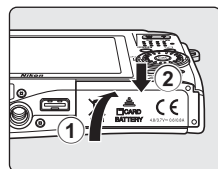
バッテリーを入れる

付属のバッテリーチャージャー MH-62で充電したLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL8をカメラに入れます。

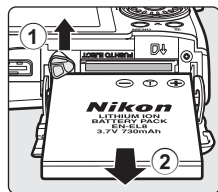
1 バッテリー/SDカードカバーを開ける

2 バッテリーを入れる

- バッテリー室内の表示を見ながら、+と−を正しい向きで入れてください。
- オレンジ色のバッテリーロックレバーをバッテリー側面で押し上げながら①、バッテリーを差し込んでください②。奥まで差し込むと、バッテリーロックレバーが下がり、バッテリーが固定されます。

✔ 逆挿入注意

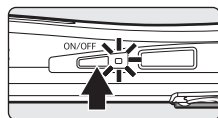
バッテリーの向きを間違えると、カメラが破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

3 バッテリー/SDカードカバーを閉じる

バッテリーを取り出すときは

電源ランプが消灯していることを確認してから、バッテリー /SDカードカバーを開けてください。オレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押し上げると①、バッテリーが押し出されるので、まっすぐ引き抜いてください②。

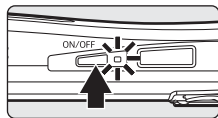
- カメラを使った直後は、バッテリーが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

電源をON/OFFするには

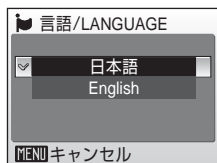
電源スイッチを押すと、電源ランプと液晶モニターが点灯します。電源ランプ（緑色）が点灯しているときに、電源スイッチを押すと、電源はOFFになります。

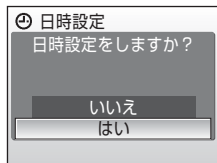
電源がOFFの状態で ▶ ボタンを押し続けると、1コマ再生モードで電源がONになります（26）。

表示言語と日時を設定する

ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

1 電源スイッチを押して、電源をONにする

- 電源ランプと液晶モニターが点灯します。

2 ロータリーマルチセレクターで表示言語を選び、Ⓞボタンを押す

- ロータリーマルチセレクターの使い方（9）

3 ［はい］を選び、Ⓞボタンを押す

- 日時設定を中止するときは［いいえ］を選びます。

4 Ⓞボタンを押す

- ［自宅の設定］画面が表示されます。

夏時間を設定する

夏時間（サマータイム）が現在実施されているときは、［ワールドタイム］画面で［夏時間］のチェックボックスをオン（✔）にしてから、現在の日時を設定します。

1 Ⓞボタンを押す前に、▼を押して［夏時間］を選ぶ
2 Ⓞボタンを押して、チェックボックスをオン［✔］にする
もう一度Ⓞボタンを押すとチェックボックスをオフにできます。
3 ▲を押してからⓄボタンを押し、手順5に進む

夏時間の期間が終了したときは、［日時設定］（105）で［夏時間］のチェックボックスをオフにしてください。カメラの時刻が1時間戻ります。

5 自宅のあるタイムゾーン（都市名）（🔲107）を選び、Ⓚボタンを押す

- ［日時設定］画面が表示されます。

6 ［年］を合わせ、Ⓚボタンを押す

7 ［月］を合わせ、Ⓚボタンを押す

8 手順6、7と同様の手順で［日］と分単位まで時刻を合わせて、Ⓚボタンを押す

- ［年月日］が点滅します。

9 ［年月日］の表示順を選び、Ⓚボタンを押す

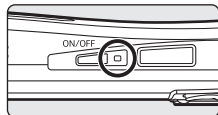
- 設定が有効になり、撮影モードの画面が表示されます。

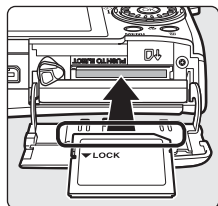
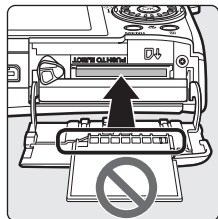
SDカードを入れる

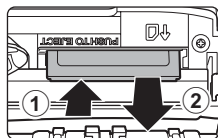
撮影した画像は、カメラの内蔵メモリー（約13 MB）、または市販のSDカード（118）のどちらかに記録されます。
カメラにSDカードを入れると、SDカードに記録されます。SDカードが入っているときは、SDカードの画像を再生、削除、または転送できます。内蔵メモリーを使いたいときは、SDカードを取り出してください。

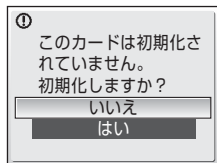
撮影の準備

1 電源ランプが消灯していることを確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開ける

- 点灯しているときは、電源スイッチを押して電源をOFFにしてください。
- SDカードを抜き差しするときは、必ず電源をOFFにしてください。

2 SDカードを入れる

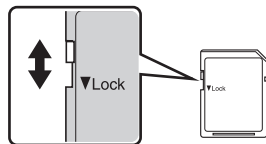
- 右図のように正しい向きで、カチッと音がするまで差し込んでください。
- 挿入後、バッテリー/SDカードカバーを閉めてください。

逆挿入注意
SDカードの向きを間違えると、カメラやSDカードが破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

SDカードを取り出すときは

電源ランプが消灯していることを確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開けてください。カードを指で軽く奥に押し込んで離すと①、カードが押し出されるので②、まっすぐ引き抜いてください。

SDカードの初期化

電源をONにしたときに右のように表示された場合は、SDカードを初期化する必要があります。SDカードを初期化（113）すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。カード内に必要なデータが残っているときは、初期化する前に、パソコンなどに保存してください。
ロータリーマルチセレクターで［はい］を選び、OKボタンを押すと確認画面が表示されます。［初期化する］を選び、OKボタンを押すと初期化が始まります。

- 初期化中は、電源をOFFにしたり、バッテリー/SDカードカバーを開けないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラで初めて使うときは、必ず初期化（113）してからお使いください。

SDカードの書き込み禁止スイッチについてのご注意

SDカードには、書き込み禁止スイッチが付いています。このスイッチを「Lock」の位置にすると、データの書き込みや削除が禁止され、カード内の画像を保護できます。撮影時や画像を削除するとき、カードを初期化するときは「Lock」を解除してください。

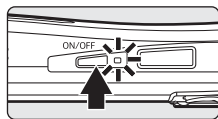
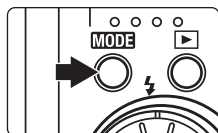
書き込み禁止スイッチ

SDカードの取り扱い上のご注意

- SDカード以外のメモリーカードは使えません。
- 初期化中や画像の記録・削除中、パソコンとの通信時などには、以下の操作をしないでください。記録されているデータの破損やカードの故障の原因となります。
  - カードの着脱をしないでください
  - バッテリーを取り出さないでください
  - カメラの電源をOFFにしないでください
  - ACアダプターを外さないでください
- 分解や改造をしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 端子部を手や金属で触らないでください。
- ラベルやシールを貼らないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たるところなどには置かないでください。
- 湿度の高いところやほこりが多いところ、腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。

ステップ1　電源をONにして（オート撮影）を選ぶ

（オート撮影）モードでは、撮影状況に合わせて各機能が最適な状態に自動的に設定されるので、はじめてデジタルカメラをご使用になる方でも簡単に撮影できます。

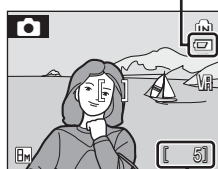
1 電源スイッチを押して電源をONにする

- 電源ランプと液晶モニターが点灯します。
- 画面にが表示されているときは、手順4に進んでください。

2 MODE ボタンを押す

3 ロータリーマルチセレクターでを選び、OK ボタンを押す

- （オート撮影）モードになります。

4 バッテリー残量と記録可能コマ数を確認する

バッテリー残量

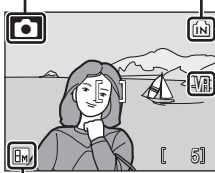
モニター表示	内容
表示なし	バッテリー残量は充分にあります。
▭	バッテリー残量が少なくなりました。 バッテリー充電や交換の準備をしてください。
電池残量がありません	撮影できません。バッテリーを充電または交換してください。

記録可能コマ数

撮影できる残りのコマ数が表示されます。

記録可能コマ数は内蔵メモリーまたはセットしているSDカードのメモリー残量と画像モードによって異なります。

📷（オート撮影）モードでの液晶モニター表示

撮影モード
オート撮影のときには📷が表示されます。

内蔵メモリー表示
画像は内蔵メモリーに記録されます。
SDカードをカメラに入れたときは、🄸🄽は表示されず画像はSDカードに記録されます。

画像モード
撮影目的に応じて、7種類の画像モードから選べます。初期設定は🄼標準（3,264×2,448）です。

手ブレ補正表示
撮影状況に応じて、手ブレ補正機能を設定できます。初期設定はONです。

📷（オート撮影）モードで使用可能な機能について

📷（オート撮影）モードではフラッシュモード（28）、セルフタイマー（30）、マクロモード（31）、および露出補正（32）の設定ができます。また、📷（オート撮影）モードのときにMENUボタンを押すと、撮影メニューが表示され、画像モード（87）、ホワイトバランス（89）、連写（91）、BSS（92）、ISO感度設定（93）、ピクチャーカラー（93）、AFエリア選択（94）の各項目を、撮影状況に合わせて設定できます。

手ブレ補正について

［手ブレ補正］（111）をON（初期設定）にすると望遠側での撮影や、スローシャッターでの撮影時におこりがちな手ブレを効果的に補正できます。

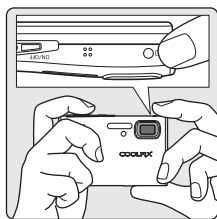
手ブレ補正機能は、すべての撮影モードで使用できます。

撮影時の節電機能について

カメラを操作しない状態が約5秒続くと、バッテリーの消耗を抑えるため、液晶モニターの表示が暗くなります。カメラを操作すると、元の明るさに戻ります。また、カメラを操作しない状態が約1分（初期設定）続くと、液晶モニターが自動的に消灯します。そのまま約3分経過すると、電源が自動的にOFFになります（112）。

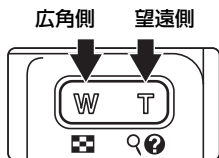
ステップ2　カメラを構え、構図を決める

1 カメラをしっかりと構える

- カメラを両手でしっかりと持ってください。レンズやフラッシュ、マイクなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。

2 構図を決める

- 写したいもの（被写体）を画面の中央付近にとらえてください。

ズームを使う

ズームボタンを押すと、光学ズームが作動します。広い範囲を写したいときは**W**（▦）ボタンを、被写体を大きく写したいときは**T**（Q）ボタンを押してください。

光学ズームを最も望遠側にして、さらに**T**（Q）ボタンを押し続けると、電子ズームが作動し、光学ズームの最大倍率（約3倍）の約4倍（合計約12倍）まで拡大できます。

ズームの量は画面上部で確認できます。

ズームボタンを操作すると、画面上部にズームの量が表示されます

光学ズームの最大倍率（約 3 倍）

電子ズームが作動すると、表示が黄色に変わります

電子ズームについてのご注意

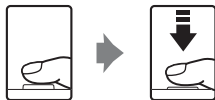
電子ズームは光学ズームとは違い、デジタル処理によって画像を拡大するため、粒子の粗い画像になります。

高感度モードについて

高感度モード（33）を使うと、ISO感度が高めに設定されるため、薄暗いシーンでも手ブレや被写体が動くことによるブレ（被写体ブレ）を軽減できます。

ステップ3　ピントを合わせてシャッターボタンを押す

1 シャッターボタンを半押しする

- 初期設定では、画面中央の AF（オートフォーカス）エリアに重なっている被写体にピントが合います。ピントが合うと、AF表示とAFエリアが緑色に点灯します。
- AF表示とAFエリアが赤色点滅したときは、ピントが合っていません。構図を変えてもう一度シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせてください。
- 電子ズーム使用時はAFエリアは表示されず、画面中央の被写体にピントが合います。

2 シャッターボタンを全押しする

- シャッターがきれ、画像が記録されます。

シャッターボタンの半押し

シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しするとピントと露出が合い、そのまま深く押し込むと、シャッターがきれます。シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレ）ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。

半押しすると、ピントと露出が固定　　そのまま深く押し込んで撮影

画像の記録についてのご注意

画面に⌛が表示されているときや、IN または ▣ が点滅しているときは、画像の記録中です。バッテリー/SDカードカバーを開けないでください。画像の記録中にSDカードやバッテリーを取り出すと、画像が記録されなかったり、撮影した画像やカメラ、SDカードが壊れることがあります。

オートフォーカスが苦手な被写体

次のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。また、AFエリアとAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、同距離にある別の被写体にピントを合わせてフォーカスロック撮影をお試しください。フォーカスロック撮影をするときは、被写体との距離を変えないでください。

フォーカスロック撮影

構図を工夫して撮影したいときや、写したい被写体にピントが合いにくいときは、次のようにピントを固定（フォーカスロック）して撮影してください。

- フォーカスロックをしている間は被写体との距離を変えないでください。

ピントを合わせたい被写体にカメラを向ける

半押しする

AF 表示が緑色に点灯したら

半押ししたまま構図を変える

そのまま深く押し込む

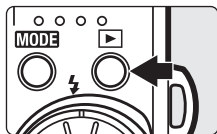
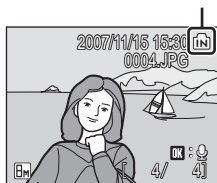
AF補助光とフラッシュについて

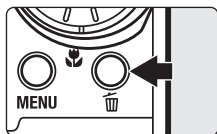
暗い場所などでは、シャッターボタンを半押しするとAF補助光が点灯したり、シャッターボタンを全押ししたときにフラッシュが発光することがあります。

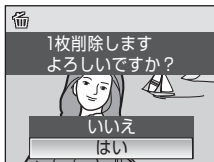
ステップ4　撮影した画像を確認する/削除する

画像を確認する（1コマ再生モード）

▶ボタンを押す

- 最後に撮影した画像が表示されます。
- ロータリーマルチセレクターの ▲▼◀▶ で前後の画像を表示できます。
- カメラを縦に構えて撮影した画像（縦位置の画像）は、設定により自動的に回転して表示されます。（☞112）また、回転方向を変更できます。（☞100）
- 前の画像や次の画像に切り換えた直後は、表示が粗くなることがあります。
- 撮影に戻るには、もう一度▶ボタンを押すか、シャッターボタンを押します。
- 内蔵メモリーの画像を再生しているときは、IN が表示されます。SDカードをカメラに入れたときは、IN が表示されずSDカードの画像が再生されます。

内蔵メモリー表示

画像を削除する

1 削除したい画像を表示させて🗑ボタンを押す

2 ロータリーマルチセレクターで［はい］を選びⓀボタンを押す

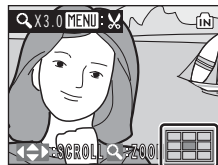
- 削除するのをやめるときは、［いいえ］を選んでⓀボタンを押します。

1コマ再生モードで使える機能

1コマ再生モードでは次の機能が使えます。

機能	操作	内容	🔗
画像を拡大する	T（Q）	クイック拡大後、最大約10倍までの倍率に拡大します。	46
サムネイル表示に切り換える	W（⊞）	9コマ、16コマ、または25コマのサムネイル画像を表示します。	44
サムネイルロータリー表示に切り換える	(OK)	ロータリーマルチセレクターを回すと、サムネイルロータリー表示モードになります。	45
暗い部分を明るく補正する（D-ライティング）	✦☺	撮影した画像の暗い部分を明るく補正します。	48
音声メモを録音/再生する	OK	最大20秒の音声を録音/再生します。	51
撮影モードに切り換える	▶ ↓ シャッターボタン	▶ ボタンまたはシャッターボタンを押すと、直前の撮影モードになります。	26

クイック拡大について

1コマ再生モードでT（Q）ボタンを押すと、表示中の画像の中央部が約3倍に拡大表示されます（🔗46）。

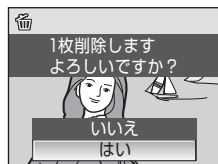
OKボタンを押すと、1コマ再生モードに戻ります。

画像の再生について

- 電源がOFFの状態で▶ボタンを押し続けると、1コマ再生モードで電源がONになります。ただし、電源をOFFにする前のモードが、音声レコードモード（🔗67）または音声データ再生モード（🔗69）だったときは、音声データ再生モードで電源がONになります。
- 内蔵メモリーに記録した画像を再生したいときは、SD カードをカメラから取り出してください。

撮影時に画像を削除する

撮影時に🗑ボタンを押すと、直前に撮影した画像が削除できます。確認画面が表示されたら、ロータリーマルチセレクターで［はい］を選び、OKボタンを押します。

削除をやめるときは、［いいえ］を選んでOKボタンを押します。

簡単な撮影と再生ーオート撮影モードを使う

フラッシュを使う

フラッシュの発光モードを撮影状況に合わせて設定できます。フラッシュの光が充分に届く距離は、広角側で約0.3～6 m、望遠側で約0.3～4 mです（[ISO感度設定］を［オート］にしたとき）。

AUTO 自動発光（オート撮影モードの初期設定）

暗い場所などで、自動的にフラッシュが発光します。

赤目軽減自動発光

人物撮影に適しており、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減できます（29）。

発光禁止

フラッシュは発光しません。

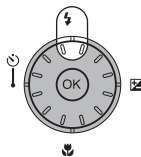
強制発光

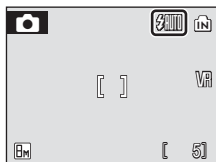
被写体の明るさに関係なく、フラッシュが発光します。逆光で撮影するときなどに使います。

スローシンクロ

自動発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせて撮影します。夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。フラッシュでメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景をきれいに写します。

1 （フラッシュモード）を押す

- 液晶モニターにフラッシュモードの設定メニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターでモードを選び、OKボタンを押す

- 設定したフラッシュモードが表示されます。
- AUTO（自動発光）にすると、AUTOが5秒間表示されます。
- （オート撮影）モード、高感度モードで設定したフラッシュモードは、電源をOFFにしても記憶されます。
- OKボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

⊕（発光禁止）にして撮影するときや、暗い場所で撮影するときの注意

- 手ブレしやすくなるため、三脚などでカメラを固定して撮影してください。三脚を使うときは、［手ブレ補正］（111）をOFFにしてください。
- 液晶モニターに［ISO］と表示されることがあります。［ISO］と表示されたときは、ISO感度が上がっているため、通常よりもざらついた画像になることがあります。
- ［ISO］が表示されたときや、ISO 感度を高めに設定したときは、画像記録時にノイズ低減処理が行われることがあります。この場合、通常より画像の記録に時間がかかります。

フラッシュ使用時のご注意

フラッシュを使用して撮影すると、フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して、画像の中に白い点のように写り込んでしまうことがあります。このようなときは、フラッシュモードを⊕（発光禁止）にして撮影することをおすすめします。

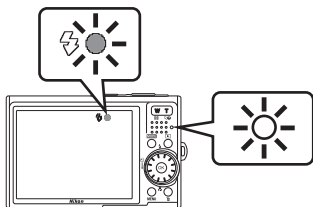
AF補助光について

暗い場所で撮影するとき、シャッターボタンを半押しすると、自動的にAF補助光が点灯することがあります。AF補助光が届く距離は、広角側で約3.5 m、望遠側で約3 mです。AF補助光は［OFF］に設定（111）できますが、ピントが合いにくくなることがあります。

フラッシュ表示/フラッシュランプについて

シャッターボタン半押し時に、フラッシュ表示およびフラッシュランプでフラッシュの状態を確認できます。

- 点灯：撮影時にフラッシュが発光します。
- 点滅：フラッシュの充電中のため、撮影できません。
- 消灯：撮影時にフラッシュは発光しません。

フラッシュ撮影後に、バッテリー残量が少なくなると、フラッシュの充電が終わるまで、液晶モニターが消灯し、フラッシュランプが点滅します。

赤目軽減自動発光について

このカメラは、「アドバンスト赤目軽減方式」を採用しています。

フラッシュが本発光する前に、少量発光を数回行い赤目現象の発生を軽減します。

さらに、カメラが撮影した画像を記録する前に赤目現象を検出したときは、赤目部分に補正を加えてから記録します。

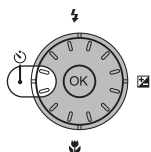
撮影する際には、次の点にご注意ください。

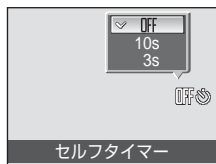
- シャッターボタンを押してからシャッターがきれるまでに、通常よりも時間がかかります。そのため、シャッターチャンスを優先する撮影にはおすすめできません。
- 次の撮影ができるまでの時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

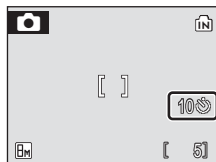
セルフタイマーを使う

記念撮影など自分も一緒に写りたいときや、シャッターを押す操作による手ブレを軽減したいときは、セルフタイマーが便利です。タイマー時間は10秒と3秒の2種類から選べます。セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。三脚を使うときは［手ブレ補正］（111）をOFFにしてください。

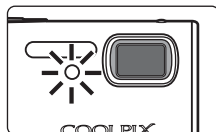
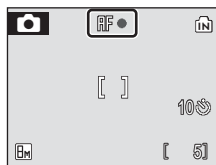
1 ⏲（セルフタイマー）を押す

- 液晶モニターにセルフタイマーの設定メニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで［10s］または［3s］を選び、OKボタンを押す

- ［10s］（10秒）：記念撮影などに適しています。
  ［3s］（3秒）　：手ブレの軽減に適しています。
- 設定したセルフタイマーモードが表示されます。
- OKボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

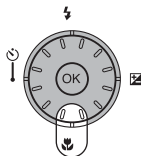
- ピントと露出が合います。

4 シャッターボタンを全押しする

- セルフタイマーが作動し、セルフタイマーランプが点滅します。シャッターが切れる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターが切れるまでの秒数が液晶モニターに表示されます。
- セルフタイマーを途中で止めるときは、もう一度シャッターボタンを押します。

簡単な撮影と再生―オート撮影モードを使う

マクロ（接写）モードを使う

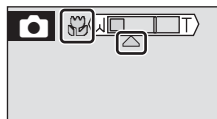
最短約4 cmまで被写体に近づいて撮影できます。ただし、フラッシュ撮影時は、被写体から30 cm以上離れなければ、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがありますのでご注意ください。

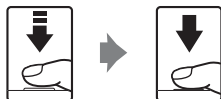
1 🌷（マクロモード）を押す

- 液晶モニターにマクロモードの設定メニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで［ON］を選び、OKボタンを押す

- 🌷マークが表示されます。
- OKボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

3 ズームボタンを操作して構図を決める

- 🌷マークが緑色で表示されているとき（ズーム位置が△付近のとき）は、レンズ前約4 cmまでの被写体にピントを合わせられます。

4 ピントを合わせて撮影する

- 📷（オート撮影）モード、高感度モードで設定したマクロモードは、電源をOFFにしても記憶されます。

マクロモードについて

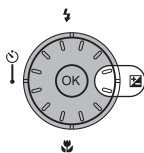
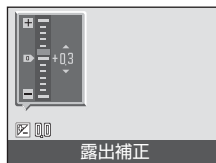
マクロモードでは、カメラが自動的にAF（オートフォーカス）によるピント合わせを繰り返しますが、シャッターボタンを半押しするとピントが合い、露出が決まります。

露出を補正する

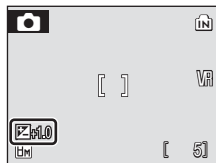
画像全体を明るくしたいときや暗くしたいときなどに使います。

1 ロータリーマルチセレクターの☒（露出補正）を押す

- 液晶モニターに露出補正の設定メニューが表示されます。

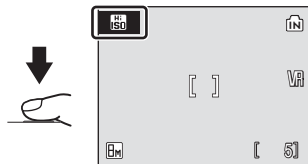
2 ロータリーマルチセレクターで補正値を選ぶ

- 画像が暗すぎるとき：補正値を＋側に設定してください。
- 画像が明るすぎるとき：補正値を－側に設定してください。
- －2.0EVから＋2.0EVの範囲で補正できます。

3 Ⓚボタンを押す

- ☒マークと補正値が表示されます。
- Ⓚボタンを押さないまま数秒経過すると、設定はキャンセルされます。
- ◘（オート撮影）モード、高感度モードで設定した露出補正値は、電源をOFFにしても記憶されます。

簡単な撮影と再生—オート撮影モードを使う

高感度モードで撮影する

高感度モードでは、ISO感度が高めに設定されるため、薄暗いシーンでも手ブレや被写体ブレの影響を軽減し、その場の雰囲気を活かした撮影ができます。被写体の明るさに応じて、ISO感度は1600まで自動的に上がります。

1 撮影時にMODEボタンを押して撮影モードメニューを表示させ、ロータリーマルチセレクターで高感度を選び、OKボタンを押す

2 構図を決めて撮影する

高感度モードのご注意

- 薄暗い場面でも手ブレが軽減されますが、フラッシュを使わないときは、カメラを三脚などで固定して撮影することをおすすめします。三脚を使うときは、[手ブレ補正]（111）をOFFにしてください。
- 撮影した画像が多少ざらつくことがあります。
- 極端に暗い場面では、ピントが合いにくくなることがあります。

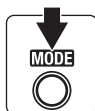
高感度モードについて

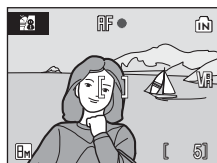
高感度モードでMENUボタンを押すと、高感度メニューが表示されます。[ISO感度設定] を除き、（オート撮影）モードの撮影メニューと同じ項目を設定できます（86）。また、（オート撮影）モードと同様に、フラッシュ、セルフタイマー、マクロモード、および露出補正も設定できます。

シーンモードで撮影する

15種類のシーンモードを選ぶだけの簡単な操作でシーンに合った撮影ができます。

ポートレート	海・雪	ミュージアム
風景	夕焼け	打ち上げ花火
スポーツ	トワイライト	モノクロコピー
夜景ポートレート	夜景	逆光
パーティー	クローズアップ	パノラマアシスト

1 撮影時に MODE ボタンを押して撮影モードメニューを表示させ、ロータリーマルチセレクターで SCENE を選び、OK ボタンを押す

2 MENU ボタンを押してシーンメニューを表示させ、シーンを選んで OK ボタンを押す

3 構図を決めて撮影する

シーンモードでの画像モード設定

[シーンメニュー]で[画像モード](87)を設定できます。画像モードの設定は他のモードと連動しているため、どのモードで設定しても同じ設定になります。

シーンモードの種類と特徴

ポートレート

人物を美しく撮影したいときに使います。人物の肌をなめらかで自然な感じに仕上げます。
- 画面中央にピントが合います。
- 電子ズームは使えません。

⚡	⚡◎※	⏲	OFF※	✿	OFF	±	0.0※	AF	AUTO※

※ 変更可能です。

風景

自然の風景や街並みなどを、色鮮やかに撮影したいときに使います。
- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（☞24）が点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。

⚡	⊛	⏲	OFF※	✿	OFF	±	0.0※	AF	OFF

※ 変更可能です。

スポーツ

運動会などスポーツ写真を撮影するときに使います。動きのある被写体の一瞬の動きを連写（連続撮影）によって鮮明にとらえます。
- シャッターボタンの半押しでピントが固定されるまで、ピント合わせを繰り返します。
- シャッターボタンを全押ししている間､約 0.8 コマ / 秒で連写できます（画像モードが 標準（3264）のとき）。
- 画像モードや SD カードの種類により､最大連写速度が遅くなることがあります。

⚡	⊛	⏲	OFF	✿	OFF	±	0.0※	AF	OFF

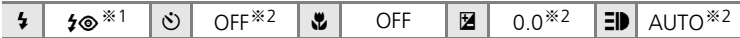
※ 変更可能です。

説明で使われているアイコンについて

⚡はフラッシュ（☞28）、⏲はセルフタイマー（☞30）、✿はマクロモード（☞31）、±は露出補正（☞32）、AFはAF補助光（☞111）です。

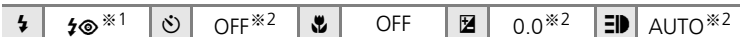
夜景ポートレート

夕景や夜景をバックに人物を撮影するときに使います。人物と背景の両方を美しく表現します。
- 画面中央にピントが合います。
- 電子ズームは使えません。

フラッシュ	※1	セルフタイマー	OFF※2	マクロ	OFF	露出補正	0.0※2	ISO	AUTO※2

※1　赤目軽減スローシンクロ強制発光に固定されます。
※2　変更可能です。

パーティー

パーティー会場などでの撮影に使います。キャンドルライトなどの背景を活かして、雰囲気のある画像に仕上げます。
- 画面中央にピントが合います。
- 暗い場所では手ブレしやすいため、[手ブレ補正]（111）の設定を確認し、カメラをしっかり持ってください。

フラッシュ	※1	セルフタイマー	OFF※2	マクロ	OFF	露出補正	0.0※2	ISO	AUTO※2

※1　赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。変更可能です。
※2　変更可能です。

海・雪

晴天の海や砂浜、雪景色などを明るく鮮やかに撮影したいときに使います。
- 画面中央にピントが合います。

フラッシュ	AUTO※	セルフタイマー	OFF※	マクロ	OFF※	露出補正	0.0※	ISO	AUTO※

※　変更可能です。

シーンに合わせて撮影する—高感度モード/シーンモードを使う

：がついたシーンモードでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚を使うときは、[手ブレ補正]（111）をOFFにしてください。

夕焼け

赤い夕焼けや朝焼けの撮影に使います。
- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（24）が点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。

			OFF※		OFF		0.0※		OFF

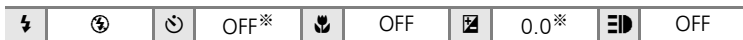
※ 変更可能です。

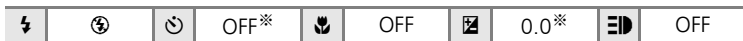
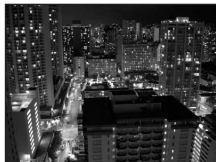
トワイライト

夜明け前や日没後のわずかな自然光の中での風景撮影に使います。
- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（24）が点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。

			OFF※		OFF		0.0※		OFF

※ 変更可能です。

夜景

夜景の撮影に使います。スローシャッターで夜景の雰囲気を表現します。
- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（24）が点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。

			OFF※		OFF		0.0※		OFF

※ 変更可能です。

：がついたシーンモードでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚を使うときは、［手ブレ補正］（111）をOFFにしてください。

クローズアップ

草花や昆虫、小さな被写体などの接写（近接撮影）に使います。

- マクロモード（31）が ON になり、ズームが自動的に最短距離で撮影可能な位置まで移動します。マークが緑色で表示されているときは、レンズ前約 4 cm までの被写体にピントを合わせられます。ズームの位置により最短撮影距離は変わります。電子ズームは使えません。
- ［AF エリア選択］は［マニュアル］になり、ボタンを押すとピント合わせを行う AF エリアを選べます（94）。
- シャッターボタンの半押しでピントを固定するまで、カメラは常にピント合わせを繰り返します。
- 手ブレしやすいため、［手ブレ補正］（111）の設定を確認し、カメラをしっかり持ってください。

	※		OFF※		ON		0.0※		AUTO※

※ 変更可能です。

ミュージアム

フラッシュ撮影が禁止されている美術館など、フラッシュを発光させたくない場所で撮影するときに使います。

- 画面中央にピントが合います。
- ［BSS］（92）が自動的に［ON］になります。
- 手ブレしやすいため、［手ブレ補正］（111）の設定を確認し、カメラをしっかり持ってください。

			OFF※		OFF※		0.0※		OFF

※ 変更可能です。

打ち上げ花火

スローシャッターで、打ち上げ花火をきれいに撮影できます。

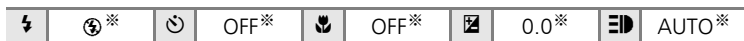
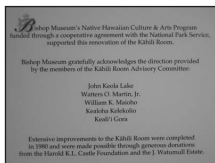
- 遠景にピントが固定されます。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（24）が点灯します。ただし、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。

⚡	⊘⚡	⏲	OFF	🌷	OFF	±	0.0	≡D	OFF

モノクロコピー

ホワイトボードや印刷物などの文字を、シャープに撮影したいときに使います。

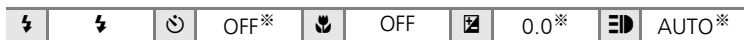
- 画面中央にピントが合います。
- 近くのものを撮影するときは、マクロモード（31）を併用してください。
- 赤色、青色などの被写体を撮影すると、文字などが薄くなることがあります。

⚡	⊘⚡※	⏲	OFF※	🌷	OFF※	±	0.0※	≡D	AUTO※

※ 変更可能です。

逆光

逆光状態での撮影に使います。内蔵フラッシュが常に発光し、人物が影にならず美しく撮影できます。

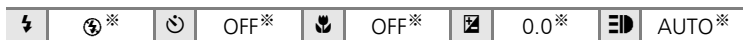
- 画面中央にピントが合います。

⚡	⚡	⏲	OFF※	🌷	OFF	±	0.0※	≡D	AUTO※

※ 変更可能です。

：がついたシーンモードでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚を使うときは、［手ブレ補正］（111）をOFFにしてください。

⌶ パノラマアシスト

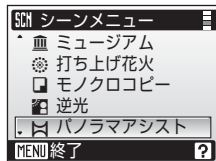
撮影した複数の画像をつなげて、パノラマ写真に合成したいときに使います。撮影した画像は、付属のソフトウェア「Panorama Maker」を使ってパソコンでパノラマ写真に合成できます。

⚡	⊛※	⏱	OFF※	🌷	OFF※	☑	0.0※	≡D	AUTO※

※ 変更可能です。

パノラマアシストを使った撮影方法

画面中央にピントが合います。三脚を使うと、構図を合わせやすくなります。三脚を使うときは［手ブレ補正］（111）をOFFにしてください。

1 ロータリーマルチセレクターでシーンメニューから［⌶パノラマアシスト］を選び、OKボタンを押す

- パノラマ方向（画像をつなげる方向）を示す▷マークが黄色で表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターでパノラマ方向を選び、OKボタンを押す

- 右方向につなげるときは▷、左方向は◁、上方向は△、下方向は▽を選びます。
- 選んだ方向に▷マークが移動し、OKボタンを押すと白色に変わります。
- フラッシュモード（28）、セルフタイマー（30）、マクロモード（31）、露出補正（32）を設定したいときは、ここで設定してください。
- OKボタンを押すと、パノラマ方向を選び直せます。

3 一番端の被写体に構図を合わせ、1コマ目を撮影する

- 画面の1/3に、撮影した画像が半透明に表示されます。

4 2コマ目以降を撮影する

- 次の被写体の 1/3 が前の絵柄に重なるように構図を合わせて、シャッターボタンを押してください。
- この手順を繰り返して、必要な画像を撮影してください。

5 必要な画像を撮影し終わったら、ロータリーマルチセレクターのⓀボタンを押す

- 手順2の状態に戻ります。

パノラマアシストについてのご注意

- フラッシュモード（28）、セルフタイマー（30）、マクロモード（31）、露出補正（32）は、1コマ目を撮影する前に設定してください。2コマ目以降はすべて同じ設定で撮影されます。撮影開始後に設定の変更はできません。画像モード（87）の変更やズーム操作、画像の削除もできません。
- 撮影中にオートパワーオフ（112）による待機状態になると撮影が終了します。オートパワーオフの時間を長めに設定しておくことをおすすめします。

AE-Lについて

パノラマアシストモードでは、1コマ目を撮影すると、画面にAE-Lまたは（マクロモード設定時）と表示されます。これは、露出とホワイトバランスがロック（固定）されたことを示しています。これによってパノラマ写真を構成するすべての画像を、同じ露出とホワイトバランスで撮影できます。

Panorama Makerについて

Panorama Makerは、付属のSoftware Suite CD-ROMを使ってパソコンにインストールできます。撮影した画像をパソコンに転送して（73）、Panorama Makerでパノラマ写真に合成してください（76）。

関連ページ

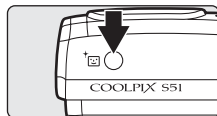
記録データのファイル名とフォルダ名→119

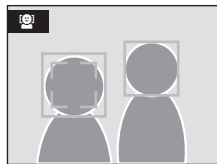
フェイスクリアーモードで撮影する

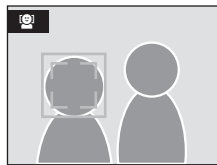
（オート撮影）モード、高感度モード、シーンモード、動画モードのときにボタンを押すと、人物撮影に適した「フェイスクリアーモード」になります。フェイスクリアーモードでは以下のような撮影ができます。

- 人物を浮き立たせて立体感のある画像になります。
- 人物の顔に自動的にピントを合わせる「顔認識 AF」と、フラッシュによる赤目現象を軽減する「アドバンスト赤目軽減」（29）が自動的にONになります（変更可能）。マクロモードは使えません。

もう一度ボタンを押すと、撮影モードメニューで選んでいる撮影モードに戻ります。

1 ボタンを押す

2 構図を決める

- カメラが顔を認識すると、黄色の二重枠が表示されます。
- 複数の顔を認識した場合は、最も近くにいる人の顔が二重枠で、他の顔が一重枠で示されます。ピントと露出は、二重枠で囲まれた人の顔に合います。途中で被写体が横を向くなどしてカメラが被写体を見失なうと、枠が消えます。
- 電子ズームは使えません。

3 シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が固定され、二重枠が緑色に変わります。

4 そのままシャッターボタンを全押しして撮影する

フェイスクリアーメニュー

フェイスクリアーモードでMENUボタンを押すと、フェイスクリアーメニューが表示されます。画像モードや、肌の色合いや質感が表現できる［ポートレート効果］を設定できます。

画像モード

画像モードを変更できます（87）。

ポートレート効果

人物の肌の質感や画像全体の雰囲気をどのように表現するかを、［標準］、［明るめ］、［ソフト］の3種類から選べます。［明るめ］にすると人物の肌の透明感を強調した画像になり、［ソフト］にすると全体の雰囲気がソフトな画像になります。

顔認識AFについてのご注意

- 顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。
- 次のような場合は、カメラは人物の顔を認識できません。
  - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている。
  - 人物が横を向いている。
  - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている。
- どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどの撮影条件によって異なります。
- 二重枠が黄色点滅しているときは、顔にピントが合っていません。もう一度ピントを合わせてください。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（25）の撮影では、二重枠が緑色になっていても、まれにピントが合わないことがあります。ピントが合わないときは、オート撮影モードなどに切り換えて、同距離にある別の被写体にピントを合わせてフォーカスロック撮影（25）をお試しください。

フェイスクリアーモードで使用できる設定

- フラッシュモードは他のモードに変更できます。
- セルフタイマーと露出補正が設定できます。マクロモードは使えません。

複数の画像を一覧表示する（サムネイル表示モード）

1コマ再生モード（🔍26）で**W**（▦）ボタンを押すと、画像を一覧できる「サムネイル表示モード」になります。サムネイル表示モードでは、以下の操作ができます。

機能	ボタン	内容	🔍
画像を選ぶ	OK	ロータリーマルチセレクターで画像を選びます。	9
表示コマ数を変更する	W T	1コマ表示のときに**W**（▦）ボタンを押すと、次のように一覧表示されます。 9コマ→16コマ→25コマ **T**（🔍）ボタンを押すと、逆に表示コマ数が減っていきます。	–
1コマ再生モードに切り換える	ⓚ	ⓚボタンを押すと、1コマ再生モードに戻ります。	26
暗い部分を明るく補正する（D-ライティング）		撮影した画像の暗い部分を明るく補正します。	48
撮影モードに切り換える	▶	▶ボタンまたはシャッターボタンを押すと、直前の撮影モードになります。	26

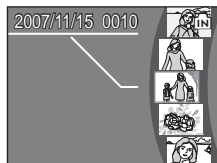
9コマサムネイルに表示されるマーク

プロテクト設定（🔍99）した画像には、右のようにマークが表示されます。動画は映画フィルムの1コマのように表示されます。プロテクト設定は、16コマや25コマサムネイルには表示されません。

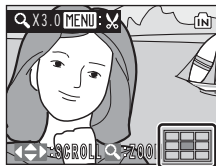
：プロテクト設定マーク

動画表示

複数の画像を回転表示する（サムネイルロータリー表示モード）

1コマ再生モード（🔍26）でロータリーマルチセレクターを回すと、「サムネイルロータリー表示モード」になります。液晶モニターの右側にサムネイル画像が表示され、回転を止めると中央のサムネイル画像が左側に表示されます。サムネイルロータリー表示モードでは、以下の操作ができます。

機能	ボタン	内容	🔍
画像を選ぶ	（ロータリーマルチセレクター）	ロータリーマルチセレクターを回すか、▲▼を押して画像を選びます。	9
1コマ再生モードに切り換える	ⓚ T（🔍）	ⓚボタンまたはT（🔍）ボタンを押すと、1コマ再生モードに戻ります。	26
暗い部分を明るく補正する（D-ライティング）	（D-ライティング）	撮影した画像の暗い部分を明るく補正します。	48
撮影モードに切り換える	▶ ⬇ （シャッターボタン）	▶ボタンまたはシャッターボタンを押すと、直前の撮影モードになります。	26

画像を拡大する

1コマ再生モード（26）でT（）ボタンを押すと、表示中の画像の中央部が約3倍に拡大表示されるクイック拡大モードになります。
画面右下のガイドは、どの部分が表示されているかを示しています。ロータリーマルチセレクターの▲▼◀▶を押して表示される部分を切り換えられます。

クイック拡大モードでさらにズームボタンを操作すると、拡大率を自由に変更できる「拡大表示モード」になります。拡大率は画面に表示されます。拡大表示モードでは、以下の操作ができます。

機能	ボタン	内容	
拡大倍率を上げる	T （）	T（）ボタンを押すごとに、表示中の画像を最大約10倍まで拡大します。	–
拡大倍率を下げる	W （）	拡大表示中にW（）ボタンを押すと、拡大倍率が下がります。倍率が1倍になると、1コマ再生モードに戻ります。	–
画像の他の部分を表示する	OK	ロータリーマルチセレクターの▲▼◀▶を押して、画像をスクロールします。	9
1コマ再生モードに切り換える	OK	1コマ再生モードに戻ります。	26
トリミング画像を作成する	MENU	拡大表示した部分だけを別画像として保存します。	49
撮影モードに切り換える		ボタンまたはシャッターボタンを押すと、直前の撮影モードになります。	26

画像を編集する

以下の機能を使って、画像を簡単に編集できます。編集した画像は元画像とは別の画像として、異なるファイル名で保存されます（🔗119）。

編集の種類	内容	用途
D-ライティング	画像の暗い部分を明るく補正する	逆光やフラッシュの光量不足で暗くなった部分を明るく補正したいとき
トリミング	画像の一部を切り出す	被写体をクローズアップしたいとき、構図に手を加えたいとき、など
スモールピクチャー	小さいサイズの画像を作成する	メールに添付して送信する場合など、画像のサイズを小さくしたいとき

画像編集を適用する際のご注意

- ［画像モード］（🔗87）を［16:9］にして撮影した画像は選べません。
- COOLPIX S51以外で撮影した画像は、COOLPIX S51で再生、編集できないことがあります。
- COOLPIX S51以外のデジタルカメラでは、COOLPIX S51で編集した画像の正常な表示やパソコンへの転送ができないことがあります。
- 内蔵メモリー /SDカードに充分な空き容量がないと、編集できません。

画像編集の制限

	2回目の編集		
1回目の編集	D-ライティング	トリミング	スモールピクチャー
D-ライティング	×	○	○
トリミング	×	×	×
スモールピクチャー	×	×	×

- 同じ画像編集を2回行うことはできません。
- D-ライティングと、トリミングまたはスモールピクチャーを組み合わせて編集するときは、D-ライティングを先に行ってください。

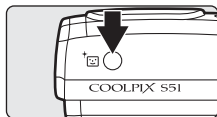
元画像と編集画像の関係について

- 編集で作成した画像は、元画像を削除しても削除されません。また編集で作成した画像を削除しても、元画像は削除されません。
- 編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。
- ［プリント指定］（🔗83）を行ったり、［プロテクト設定］（🔗99）された画像を編集しても、これらの設定内容は編集先の画像には反映されません。

画像の暗い部分を明るく補正する（D-ライティング）

逆光やフラッシュの光量不足などで暗くなった被写体を、明るく補正できます。D-ライティングで補正した画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

1 1コマ再生モード（26）、サムネイル表示モード（44）、サムネイルロータリー表示モード（45）で画像を選び、ボタンを押す

- 補正前（左側）と補正後（右側）の見本が表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで［実行］を選び、ボタンを押す

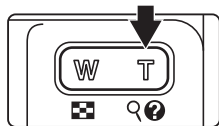
- 補正画像が作成されます。
- D-ライティングを中止するときは、［キャンセル］を選び、ボタンを押します。

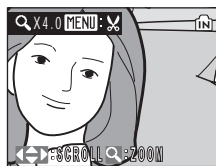
- D-ライティングを行った画像は、再生画面でが表示されます。

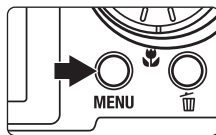
再生機能を使いこなす

画像の一部を切り抜く（トリミング）

拡大表示（46）中に MENU:✂ マークが表示されている画像は、液晶モニターに表示している部分だけにトリミング（切り抜き）できます。トリミングした画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

1 1コマ再生モードでT（Q）ボタンを押して画像を拡大表示する

2 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節する

- ズームボタンを使って拡大率を調節します。
- ロータリーマルチセレクターの ▲▼◀▶ を押して表示範囲を調整します。

3 MENUボタンを押す

- 確認画面が表示されます。

4 ロータリーマルチセレクターで［はい］を選び、ⓀボタンをＯ押す

- トリミング画像が作成されます。

- トリミングで作成された画像の画像サイズは、拡大倍率により異なります。次のうちから最適なものをカメラが自動的に選びます（単位：ピクセル）。

  ・8M 3,264×2,448 ・5M 2,592×1,944 ・4M 2,272×1,704 ・3M 2,048×1,536
  ・2M 1,600×1,200 ・1M 1,280×960 ・PC 1,024×768 ・TV 640×480
  ・320×240 ・160×120

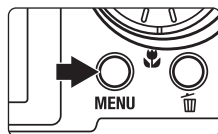
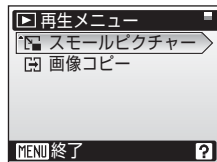
再生機能を使いこなす

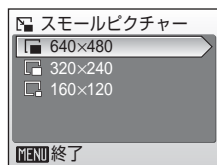
小さいサイズの画像を作成する（スモールピクチャー）

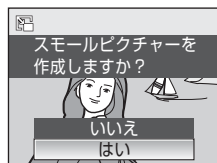
撮影した画像から、サイズの小さい画像を新しく作ります。作成するスモールピクチャーの大きさは以下の3種類から選べます。スモールピクチャーは、元の画像とは別の画像（圧縮率約1/16）として保存されます。

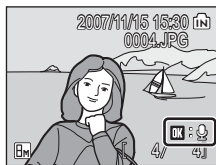
種類	内容
640×480	テレビでの表示に適しています。
320×240	ホームページでの使用に適しています。
160×120	電子メールへの添付に適しています。

1 1コマ再生モード（26）、サムネイル表示モード（44）、サムネイルロータリー表示モード（45）で画像を選び、MENUボタンを押す

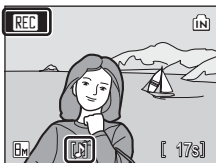
- 再生メニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで［スモールピクチャー］を選び、Ⓚボタンを押す

3 スモールピクチャーのサイズを選び、Ⓚ ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。
- 作成をやめるときは、MENUボタンを押します。

4 ［はい］を選び、Ⓚボタンを押す

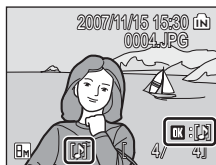
- スモールピクチャーが作成されます。

画像に音声メモを付ける

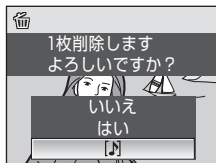
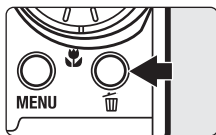
1コマ再生モード（🔖26）で🆗:🎙マーク（音声メモ録音ガイド）が表示されている画像に、カメラのマイクを使って音声によるメモが付けられます。

音声メモを録音するには

🆗ボタンを押している間、約20秒まで音声メモが録音できます。
🆗ボタンから指を離すか、約20秒経過すると録音が終了します。

- 録音中は、カメラのマイクに触れないようご注意ください。
- 録音中はRECと[♪]が点滅します。

音声メモを再生するには

音声メモ付き画像を1コマ再生して、🆗ボタンを押すと音声メモが再生されます。再生が終わるか、もう一度🆗ボタンを押すと再生が終了します。

- 音声メモ付きの画像には、🆗：[♪]（音声メモ再生ガイド）と[♪]が表示されます。
- 再生中、ズームボタンで音量を調整できます。**T**（🔍）ボタンを押すと音量が大きくなり、**W**（⊞）ボタンを押すと小さくなります。

音声メモを削除するには

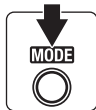
音声メモ付き画像を選んで🗑ボタンを押します。ロータリーマルチセレクターで[[♪]]を選んで🆗ボタンを押すと、音声メモだけが削除されます。

✔ 音声メモについてのご注意

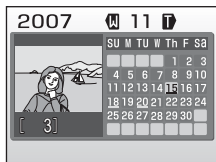
- 音声メモのファイル名は、音声メモを録音した画像と同じファイル名に、音声メモであることを示す拡張子「.WAV」がつきます（例：DSCN0015.WAV）（🔖119）。
- すでに音声メモが録音されている画像には、音声メモを録音できません。いったん音声メモだけを削除してから、もう一度音声メモを録音してください。
- COOLPIX S51以外で撮影した画像には、COOLPIX S51で音声メモを付けられないことがあります。

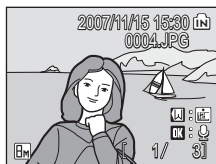
特定の日付の画像を選ぶ

カレンダーモード、撮影日一覧モードでは、撮影した日付を選んで画像を表示できます。MENUボタンを押すと、カレンダー/撮影日一覧メニューが表示され、同じ日付の画像をまとめて削除したり、プリント指定やプロテクトなどを一度に設定できます。

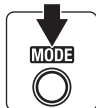
カレンダーモードで日付を選ぶ

1 再生時に MODE ボタンを押して再生モードメニューを表示し、ロータリーマルチセレクターで を選び、Ⓞボタンを押す

2 日付を選び、Ⓞボタンを押す

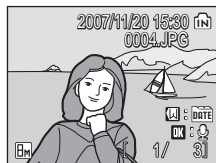
- 撮影画像のある日付に黄色の下線が表示されます。黄色の下線がついている日付を選びます。
- **W**（）ボタンを押すと前の月、**T**（）ボタンを押すと次の月のカレンダーが表示されます。

- 選んだ日に、最初に撮影された画像が1コマ表示されます。
- 1コマ表示の状態で**W**（）ボタンを押すと、カレンダーに戻ります。

再生機能を使いこなす

撮影日一覧モードで日付を選ぶ

1 再生時に MODE ボタンを押して再生モードメニューを表示し、ロータリーマルチセレクターで DATE を選び、OK ボタンを押す

- 撮影画像のある日付が撮影日として一覧表示されます。

2 日付を選び、OK ボタンを押す

- 表示される撮影日は最大29日分までです。撮影日が30日以上あると、[過去画像] として30日以降の画像がすべてまとめられます。

- 選んだ日に最初に撮影した画像が、1 コマ表示されます。
- 1コマ表示の状態で**W**（▦）ボタンを押すと、撮影日一覧に戻ります。

カレンダーモード/撮影日一覧モードの操作

機能	ボタン	内容	📖
日付を選ぶ	(ロータリーマルチセレクター)	ロータリーマルチセレクターで日付を選びます。	–
月を選ぶ（カレンダーモードのみ）	W T	W（⊞）ボタンを押すと前の月、T（Q）ボタンを押すと次の月のカレンダーを表示します。	–
1コマ再生モードにする	OK	選んだ日付の画像を1コマ表示します。 1コマ表示時にW（⊞）ボタンを押すと、1コマ表示する前のカレンダーモードまたは撮影日一覧モードに戻ります。	27
画像を削除する	🗑	日付を選び、🗑ボタンを押すと削除確認画面が表示されます。［はい］を選んでOKボタンを押すと、その日付の画像がすべて削除されます。	26
カレンダー/撮影日一覧メニューを表示する	MENU	カレンダー/撮影日一覧メニューを表示します。	55
再生モードメニューを表示する	MODE	再生モードメニューを表示します。	8
撮影モードに切り換える	▶	▶ボタンを押すと、直前の撮影モードになります。	26

カレンダーモード/撮影日一覧モードについてのご注意

- カレンダーモードと撮影日一覧モードで表示できる画像は、最新の画像から9,000コマまでです。
- 日時を設定せずに撮影した画像は、表示されません。

カレンダー /撮影日一覧メニュー

カレンダーモード/撮影日一覧モードでMENUボタンを押すと、選んだ日付の画像だけを対象とする以下のメニューが表示されます。

プリント指定	83
スライドショー	98
削除	99
プロテクト設定	99
画像回転※	100
スモールピクチャー※	50

※1コマ表示時のみ

カレンダー表示/撮影日一覧表示と1コマ表示では、対象となる画像が次のように異なります。

- カレンダー表示/撮影日一覧表示では、選んだ日付の画像がすべて対象となります。
- 1コマ表示では、表示中の画像を含む同じ日付の画像すべてが対象となりますが、後で個別に対象とするかどうか設定できます。

［プリント指定］についてのご注意

選んだ日付以外の画像がすでにプリント指定されていると、［選択日以外のプリント指定を残しますか？］という確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと、前回の設定内容に今回の設定内容が追加されます。[いいえ]を選ぶと、前回の設定は削除され、今回の設定だけが残ります。

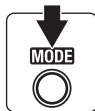
Pictmotionを楽しむ

撮影した画像をつなぎ、BGMや画像効果を選んで再生する「Pictmotion※（ピクトモーション）」を楽しむことができます。
この機能は、カメラにSDカードが入っていないときは使えません。

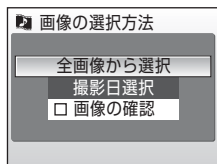
※Pictmotionはmuvee Technologies社の技術によるものです。

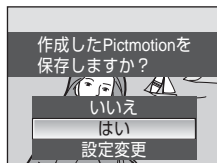
Pictmotionを作る

ここでは、最も簡単な方法でPictmotionを作る方法を紹介します。

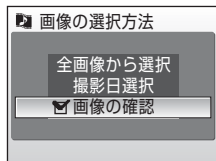
1 再生時に MODE ボタンを押して再生モードメニューを表示し、ロータリーマルチセレクターで を選び、OKボタンを押す

2 ［（新規作成）］を選び、OKボタンを押す

3 ［全画像から選択］を選び、OKボタンを押す

- 自動的に最新の画像 30 コマ（初期設定）を使って、Pictmotionが作成されます。
- Pictmotionが自動再生された後、保存確認画面が表示されます。

4 ［はい］を選び、OKボタンを押す

- Pictmotionが保存され、手順2の画面に戻ります。保存されたPictmotionがアイコン表示されます。
- 一度保存したPictmotionの［設定変更］はできません。保存したPictmotionと異なる設定で作成するときは、もう一度最初から作り直してください。

画像を自分で選ぶには

1 「Pictmotionを作る」の手順3（56）［画像の選択方法］画面から［画像の確認］をロータリーマルチセレクターで選び、ボタンを押す

- 画像の確認チェックボックスに、チェックマークが付きます。

2 ［全画像から選択］または［撮影日選択］を選び、ボタンを押す

- ［全画像から選択］→手順4へ
  ［撮影日選択］→手順3へ

3 撮影日を選ぶ

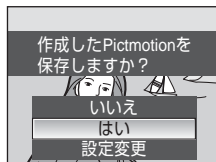
- ボタンを押して、撮影日の選択（チェックマークあり）/選択解除（チェックマークなし）を切り換えます。
- 複数の撮影日が選べます。
- 設定が終了したらシャッターボタンを押します。

4 画像を選ぶ

- 手順2で［全画像から選択］を選ぶと、すべての画像が表示されます。［撮影日選択］を選ぶと、手順3で選んだ撮影日の画像だけが表示されます。
- ロータリーマルチセレクターを回して画像を選び、▲▼を押して画像の選択（チェックマークあり）/選択解除（チェックマークなし）を切り換えます。
- 画像は200コマまで選べます。
- **T**（）ボタンを押すと1コマ表示に切り換り、**W**（）ボタンを押すと元に戻ります。
- 設定が終了したらボタンを押します。
- Pictmotionが自動再生された後、保存確認画面が表示されます。

［撮影日選択］の場合

5 ［はい］を選び、ボタンを押す

- Pictmotionが保存されます。

Pictmotionについてのご注意

- 最大5ファイルまでの動画を含んだPictmotionも作れますが、動画は一部だけが再生されます。60秒を超える動画は、最初の60秒の一部だけが再生されます。
- Pictmotionは1枚のSDカードに20個まで保存できます。すでに20個のPictmotionが保存されているときは、不要なPictmotionを削除してから新規作成してください。
- Pictmotionに使った画像は、自動的にプロテクト設定（99）されます。

Nikon Transferについて（Windowsのみ）

付属のソフトウェアNikon Transfer Windows版を使うと、SDカードの画像をパソコンに転送するときに、カメラで作成したPictmotionを動画ファイルに変換してパソコンに保存できます。また、Pictmotionで使用するBGM（ユーザー音楽）をパソコンからカメラ内のSDカードに追加できます（1曲10分まで、最大10曲）。詳しくは、Nikon Transferのヘルプをご覧ください。

Pictmotionを削除するには

Pictmotionを削除するには、「Pictmotionを作る」の手順2（56）で削除したいPictmotionを選び、ボタンを押してください。Pictmotionを削除しても、元の画像のプロテクト設定（99）は解除されません。

Pictmotionを設定する

「Pictmotionを作る」手順2（56）Pictmotion画面でMENUボタンを押すとPictmotion設定画面が表示され、①～⑤の項目を設定できます。手順4（56）保存確認画面で［設定変更］を選ぶと設定変更画面が表示され、⑤以外の項目を設定できます。

Pictmotion 設定画面

設定変更画面

① PictmotionのBGMを選ぶ

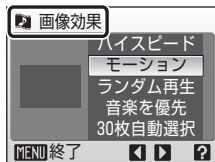
ロータリーマルチセレクターを回して［BGM］を表示させ、▶を押します。ハイスピード（初期設定）→エモーショナル→ナチュラル→アップテンポ→リラックス→ユーザー音楽1～10の中から1曲選びます。

- T（Q）ボタンを押すと、BGMを試聴できます。ユーザー音楽は試聴できません。
- ユーザー音楽1～10に、パソコンから音楽を転送して追加できます。ユーザー音楽1～10は、パソコンから転送された場合のみ表示されます。

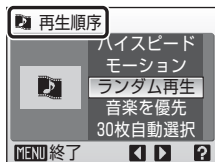
再生機能を使いこなす

② 画像効果を選ぶ

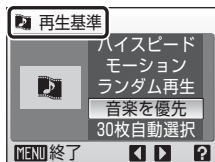
ロータリーマルチセレクターを回して［画像効果］を表示させ、▶ を押します。モーション（初期設定）→ムーディー→スロー→ファースト→セピアから選びます。

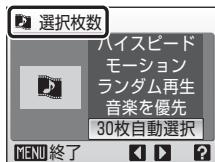
- **T**（Q）ボタンを押すと、画面の左側にスタイルの見本が表示されます。

③ 画像が再生される順序を選ぶ

ロータリーマルチセレクターを回して［再生順序］を表示させ、▶ を押します。［ランダム再生］（初期設定）または［通常再生］を選びます。

［ランダム再生］：カメラが再生順を自動的に決めます。
［通常再生］：撮影した順番に再生されます。

④ 音楽を優先するか画像表示を優先するかを設定する

ロータリーマルチセレクターを回して［再生基準］を表示させ、▶ を押します。［音楽を優先］（初期設定）または［画像を優先］を選びます。

［音楽を優先］：BGM1回分の長さに合わせてPictmotionの長さが決まります。すべての画像が再生されないことがあります。
［画像を優先］：すべての画像が表示されるように、BGMの再生回数（＝Pictmotionの長さ）が決まります。

⑤ 何コマの画像をPictmotionに使うかを選ぶ

ロータリーマルチセレクターを回して［選択枚数］を表示させ、▶ を押します。
30枚自動選択（初期設定）→50枚自動選択→100枚自動選択→200枚自動選択→自動選択なし、から選びます。
たとえば［30枚自動選択］を選ぶと、最後に撮影した画像から順に30コマがPictmotionに使う画像として指定されます。ただし、「画像を自分で選ぶには」（57）の手順1で［画像の確認］チェックボックスにチェックマークを付けると、手順4でコマ数を変更できます。

Pictmotionを再生する

1 再生時に MODE ボタンを押して再生モードメニューを表示させ、ロータリーマルチセレクターで ♪ を選び、OK ボタンを押す

2 作成したPictmotionを選び、OK ボタンを押す

3 ［再生］を選び、OK ボタンを押す

- 再生が始まります。
- 繰り返し再生するには、［エンドレス］を選んで OK ボタンを押し、チェックボックスにチェックマークを付けてください。
- 再生中はズームボタンで音量を調節できます。
- 再生中に OK ボタンを押すと、停止します。

4 ［終了］を選び、OK ボタンを押す

- 手順2の画面に戻ります。
- ［再開］を選んで OK ボタンを押すと、もう一度再生されます。

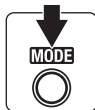
Pictmotionの再生についてのご注意

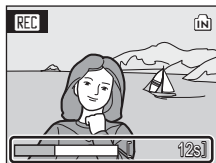
COOLPIX S51以外で作成されたPictmotionは再生できません。

動画を撮影する

動画（音声付き）を撮影できます。

1 撮影時に MODE ボタンを押して撮影モードメニューを表示させ、ロータリーマルチセレクターで 🎥 を選び、OK ボタンを押す

- 液晶モニターに、記録できる時間が表示されます。

2 シャッターボタンを全押しして、撮影を開始する

- 画面下部で、記録できる残り時間の目安を確認できます。
- もう一度シャッターボタンを全押しすると、撮影が終了します。
- 内蔵メモリーまたは SD カードの残量がなくなると、撮影は自動的に終了します。

動画撮影についてのご注意

- フラッシュ（28）と露出補正（32）は、ストップモーションのみで使えます。マクロモード（31）はすべての動画モードで使えますが、セルフタイマー（30）は使えません。
- 光学ズームを使いたい場合は、撮影前に操作してください。撮影が始まると、光学ズームは作動しません。また、撮影前に電子ズームは使えませんが、撮影中（ストップモーション撮影を除く）は、電子ズームは2倍まで作動します。
- 記録可能な最大ファイルサイズは2 GBです。

動画撮影の設定を変更する

動画メニューで［動画設定］、［AF-MODE］を変更できます（62）。

動画撮影の設定を変更する（動画メニュー）

動画モードで、MENUボタンを押すと、動画メニューが表示されます。

	動画設定	63
	撮影する動画の種類を設定します。	
	AF-MODE	65
	動画撮影時のピント合わせについて設定します。	

動画設定

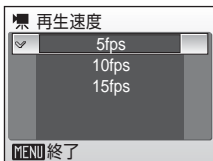
撮影する動画の種類を選びます。

種類	画像サイズとフレーム数	記録可能時間/フレーム数※	
		内蔵メモリー（約13 MB）	SDカード（256 MB）
TV再生 640★	画像サイズ：640×480ピクセル 撮影フレーム数：30フレーム/秒	8秒	約2分50秒
Pictmotion 640	60秒で撮影が終わるので、Pictmotion（56）に利用するときに便利です。 画像サイズ：640×480ピクセル 撮影フレーム数：10フレーム/秒	16秒	1分（最大）
カメラ再生 320★（初期設定）	画像サイズ：320×240ピクセル 撮影フレーム数：30フレーム/秒	22秒	約7分
長時間再生 160	画像サイズ：160×120ピクセル 撮影フレーム数：15フレーム/秒	2分47秒	約54分
ストップモーション	静止画を複数コマ撮影してから、その画像をつないで動画として記録します。音声は記録されません（64）。 画像サイズ：640×480ピクセル 再生フレーム数：5、10、15フレーム/秒から選択	265フレーム（再生フレーム数：5フレーム/秒のとき） 260フレーム（再生フレーム数：10フレーム/秒のとき） 255フレーム（再生フレーム数：15フレーム/秒のとき）	1,800フレーム（最大）

※ 数値はおおよその目安です。同じ容量でもSDカードの種類によって記録可能時間は異なります。記録可能な最大ファイルサイズが2 GBであるため、内蔵メモリーまたは容量2 GB以下のSDカードでは、メモリー残量に対する残り時間が記録可能時間として表示され、4 GBのSDカードでは最大2 GBに対する残り時間が記録可能時間として表示されます。

ストップモーション撮影をする

1 ロータリーマルチセレクターで［動画設定］メニューから［ストップモーション］を選び、Ⓚボタンを押す

2 再生速度を選び、Ⓚボタンを押す

3 MENUボタンを押す

- 撮影画面に戻ります。

4 シャッターボタンを押して1フレーム目を撮影する

- 撮影した画像が半透過で表示されます。

5 シャッターボタンを押して2フレーム目を撮影する

- 半透過で表示される画像を目安にし、2フレーム以降を撮影してください。
- ストップモーション中はオートパワーオフ（112）が30分になり、待機状態になると撮影が終了します。

6 ストップモーションを終了するときは、Ⓚボタンを押す

- 内蔵メモリー /SDカードの残量がなくなったとき、または撮影フレーム数が1800フレームに達すると、ストップモーション撮影が自動的に終了します。

ストップモーションについてのご注意

- フラッシュモード（28）、マクロモード（31）、露出補正（32）は、1フレーム目を撮影する前に設定してください。2フレーム目以降はすべて同じ設定で撮影されます。撮影開始後に設定の変更はできません。
- 途中でバッテリーが切れることがないように、充分に充電したバッテリーをお使いください。

AF-MODE

動画撮影時のオートフォーカスの方法を選びます。

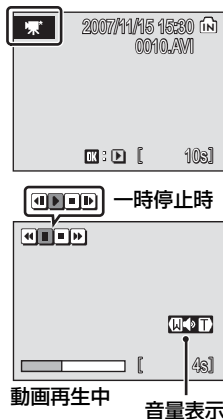
種類	内容
シングルAF（初期設定）	シャッターボタンを半押しするとピント合わせを行い、半押ししている間はピントを固定（AFロック）します。撮影中は、そのピントに固定されます。
常時AF	撮影中、常にピント合わせを繰り返します。 撮影中にカメラの動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、シングルAFに設定して撮影することをおすすめします。

動画のファイル名とフォルダ名について

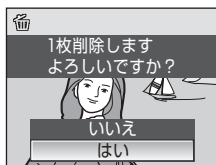
「記録データのファイル名とフォルダ名」（119）をご覧ください。

動画を再生する

1コマ再生モード（26）で、動画モードのアイコンが表示されている画像が動画です。OKボタンを押すと、再生できます。
動画モードのアイコンは、撮影時の動画設定（63）によって異なります。

動画の再生中は、ズームボタンで音量を調整します。**T**（Q）ボタンを押すと音量が大きくなり、**W**（▦）ボタンを押すと小さくなります。
ロータリーマルチセレクターを回すと早送り/巻き戻しできます。
画面上部には操作パネルが表示されます。ロータリーマルチセレクターの◀▶を押して操作ボタンを選ぶと、以下の操作ができます。

<table>
<tr><th>機能</th><th>ボタン</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td>巻き戻し</td><td>◀◀</td><td colspan="2">OKボタンを押している間、巻き戻します。</td></tr>
<tr><td>早送り</td><td>▶▶</td><td colspan="2">OKボタンを押している間、早送りします。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">一時停止</td><td rowspan="5">II</td><td colspan="2">OKボタンを押すと、一時停止します。
一時停止中にロータリーマルチセレクターでコマ送り/コマ戻しができます。また、画面上部の操作ボタンで、以下の操作ができます。</td></tr>
<tr><td>◀II</td><td>OKボタンを押すと、1コマ戻ります。押し続けると、連続してコマ戻しされます。</td></tr>
<tr><td>II▶</td><td>OKボタンを押すと、1コマ進みます。押し続けると、連続してコマ送りされます。</td></tr>
<tr><td>▶</td><td>OKボタンを押すと、再生を再開します。</td></tr>
<tr><td>■</td><td>OKボタンを押すと、1コマ再生モードに戻ります。</td></tr>
<tr><td>再生終了</td><td>■</td><td colspan="2">OKボタンを押すと、1コマ再生モードに戻ります。</td></tr>
</table>

動画ファイルを削除する

1コマ再生モード（26）、サムネイル表示モード（44）、サムネイルロータリー表示モード（45）で動画を選んで🗑ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。［はい］を選んでOKボタンを押すと、動画ファイルが削除されます。削除をやめるときは、［いいえ］を選んでOKボタンを押します。

音声を録音する

ボイスレコーダーのように、内蔵メモリーやSDカードに音声を録音します。

1 撮影時、MODEボタンを押して、撮影モードメニューを表示させ、ロータリーマルチセレクターで🎙を選び、OKボタンを押す

- 録音可能時間が表示されます。

2 シャッターボタンを全押しして録音を始める

- 録音中は表示ランプが点灯し、約30秒経過すると、節電機能により液晶モニターが消灯します。

3 シャッターボタンを全押しして録音を終える

- 内蔵メモリー /SDカードの残量がなくなったときや、録音開始から5時間経過したときは、自動的に録音が終了します。

録音中の操作

録音中は以下の操作ができます。液晶モニターが消灯しているときは、▶ボタンを押すと点灯します。

機能	ボタン	内容
録音を一時停止/再開する	OK	一時停止中は、表示ランプが点滅します。
インデックスを付ける	ロータリーマルチセレクター	再生時に目的の場所が見つけやすいように、インデックスを付けます。録音開始時のインデックスが01で、その後ロータリーマルチセレクターを押すたびに、98までのインデックスを付けられます。
録音を終了する	シャッターボタン	録音中にシャッターボタンを全押しすると、録音が終了します。

音質設定

音声レコードモードで、MENUボタンを押すと、［音質設定］画面が表示され、録音時の音質が選べます。

種類	内容	記録可能時間※	
		内蔵メモリー（約13 MB）	SDカード（256 MB）
標準	長時間の録音に適しています。	26分30秒	5時間（最大）
高（初期設定）	高音質で録音できます。	9分38秒	約3時間4分

※ 内蔵メモリーまたはSDカードの残量がなくなるまで録音できます（最大5時間）。数値はおおよその目安です。同じ容量でもSDカードの種類によって記録可能時間は異なります。

音声データについてのご注意

パソコンに転送された音声データは、QuickTimeなどのソフトウェアで再生できます。パソコンで再生すると、カメラで設定したインデックスは機能しません。

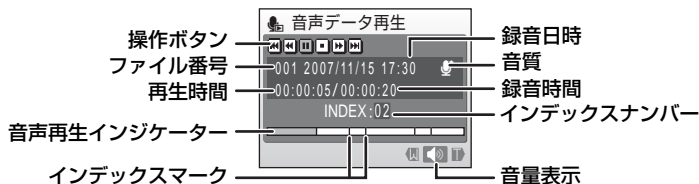
関連ページ

記録データのファイル名とフォルダ名➞119

音声を再生する

1 再生時に MODE ボタンを押して再生モードメニューを表示させ、ロータリーマルチセレクターで 🎙 を選び、⊛ボタンを押す

2 再生する音声データを選び、⊛ボタンを押す

- 音声データが再生されます。

再生中の操作

音声の再生中は、ズームボタンで音量を調整します。**T**（Q）ボタンを押すと音量が大きくなり、**W**（▦）ボタンを押すと小さくなります。
ロータリーマルチセレクターを回すと早送り/巻き戻しできます。
画面上部には操作パネルが表示されます。ロータリーマルチセレクターの◀▶を押して操作ボタンを選ぶと、以下の操作ができます。

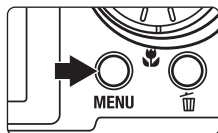
機能	ボタン	内容
巻き戻し	⏪	ⓀボタンをⓀ押している間、巻き戻します。
早送り	⏩	Ⓚボタンを押している間、早送りします。
前のインデックスへ	⏮	Ⓚボタンを押すと、前のインデックスに戻ります。
次のインデックスへ	⏭	Ⓚボタンを押すと、次のインデックスに進みます。
一時停止	⏸ ▶	Ⓚボタンを押すと、一時停止します。 一時停止中には、以下の操作ができます。 Ⓚボタンを押すと、再生を再開します。
再生終了	⏹	Ⓚボタンを押すと、［音声データ選択］画面に戻ります。

音声データを削除するには

音声の再生中に🗑ボタンを押すか、一覧表示中にロータリーマルチセレクターで削除したい音声データを選んで🗑ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。［はい］を選んでⓀボタンを押すと、音声データが削除されます。削除をやめるときは、［いいえ］を選んでⓀボタンを押します。

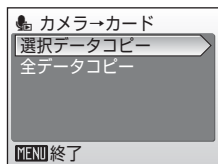
音声データをコピーする

内蔵メモリーからSDカードに、またはSDカードから内蔵メモリーに音声データをコピーします。この機能は、カメラにSDカードが入っていないと使うことができません。

1 ［音声データ選択］画面（69 手順2）で、MENUボタンを押す

2 ロータリーマルチセレクターでコピーの方向を選び、OKボタンを押す

IN⇒SD：内蔵メモリーからSDカードへコピー
SD⇒IN：SDカードから内蔵メモリーへコピー

3 コピーの方法を選び、OKボタンを押す

- ［選択データコピー］→手順4
- ［全データコピー］→手順5

4 コピーするデータを選ぶ

- ▶ を押してデータの選択（チェックマークあり）/選択解除（チェックマークなし）を切り換えます。
- 複数のデータが選べます。
- 設定が終了したらOKボタンを押します。
- コピーを確認する画面が表示されます。

コピーデータ選択
001 2007/11/15 17:30★
002 2007/11/15 18:30★
003 2007/11/26 13:00
004 2007/11/29 16:40
005 2007/12/03 08:00
MENU終了 ▶選択

5 ［はい］を選び、OKボタンを押す

- 音声データがコピーされます。

音声データコピーについてのご注意

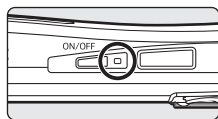
他社製のカメラで録音した音声データについては、音声データコピー機能の動作は保証しておりません。

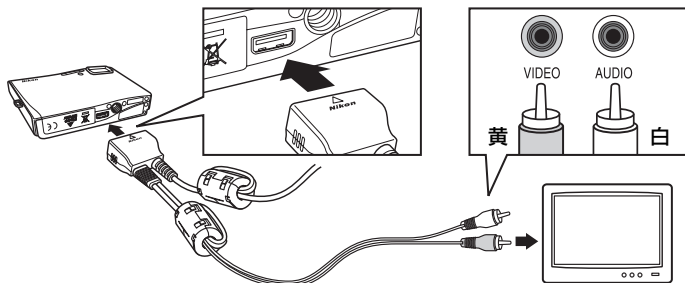
［音声データがありません］のメッセージについて

SDカードに音声データが記録されていないときにを選ぶと（69 手順1）、［音声データがありません］と表示されますが、MENUボタンを押すと［音声データコピー］画面が表示され、内蔵メモリーの音声データをSDカードにコピーできます。

テレビに接続する

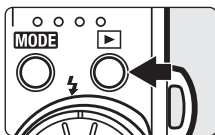
カメラを付属のオーディオビデオ/USBケーブルでテレビに接続すると、撮影した画像をテレビ画面で再生できます。

1 カメラの電源をOFFにする

2 付属のオーディオビデオ/USBケーブルで、カメラとテレビを接続する

- オーディオビデオ/USBケーブルの黄色のプラグをテレビの映像入力端子に、白のプラグを音声入力端子に接続してください。

3 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの使用説明書をご覧ください。

4 カメラの ▶ ボタンを押し続けて電源をONにする

- カメラは再生モードになり、撮影した画像がテレビに表示されます。
- テレビとの接続中は、カメラの液晶モニターは消灯したままになります。

ケーブル接続時のご注意

- ケーブルを接続するときは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- テレビに接続するときは、オーディオビデオ/USBケーブルのUSBプラグは接続しないでください。USBプラグがパソコンやプリンターなどに接続されていたら、必ず取り外してください。

画像がテレビに映らないとき

［セットアップ］メニュー（102）→［ビデオ出力］（114）がお使いのテレビに合っているか確認してください。

パソコンに接続する

付属のオーディオビデオ/USBケーブルでカメラをパソコンに接続すると、ソフトウェア「Nikon Transfer」を使って、撮影した画像をパソコンに転送して保存できます。

カメラとパソコンを接続する前に

ソフトウェアをインストールする

カメラとパソコンを接続する前に、付属のSoftware Suite（CD-ROM）を使って、パソコンに「Nikon Transfer」やパノラマ写真を作成する「Panorama Maker」などのソフトウェアをインストールします。ソフトウェアのインストール方法は、簡単操作ガイドをご覧ください。

カメラを接続できるパソコンのOS

Windows

32bit版のWindows Vista（Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate）、Windows XP Service Pack 2（Home Edition/Professional）

* Windows 2000 Professionalをお使いの方は、カードリーダーなどの機器を使って、SDカードの画像をパソコンに転送してください（75）。

Macintosh

Mac OS X（version 10.3.9、10.4.9）

対応OSに関する最新情報は、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

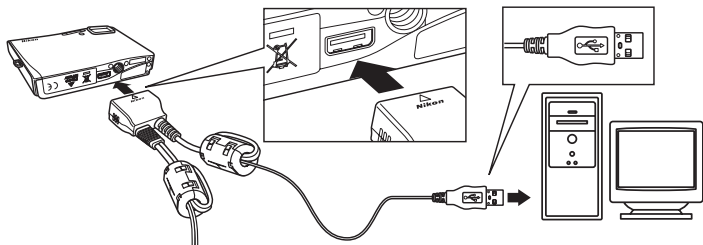
電源についてのご注意

パソコン、プリンターなどと接続するときは、途中で電源が切れないように、充分に残量のあるバッテリーをお使いください。

カメラからパソコンに画像を転送する

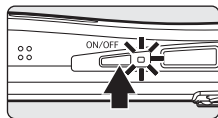
1 Nikon Transferがインストールされているパソコンを起動する

2 カメラの電源をOFFにする

3 付属のオーディオビデオ/USBケーブルで、カメラとパソコンを接続する

4 カメラの電源をONにする

- Windows Vista/XPの場合：
  起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたら、［コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする-Nikon Transfer使用］（Windows Vista）/［Nikon Transfer コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする］（Windows XP）を選んで［OK］をクリックし（Windows XP）、Nikon Transferを起動します。

  常にNikon Transferで画像を転送する場合は、［このデバイスの場合は常に次の動作を行う］（Windows Vista）/［この動作は常にこのプログラムを使う］（Windows XP）にチェックを入れてください。

- Mac OS Xの場合：
  Nikon Transferのインストールで、［自動起動の設定］を［はい］にした場合は、パソコンでNikon Transferが自動起動します。

ケーブル接続時のご注意

- ケーブルを接続するときは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

5 Nikon Transferの起動が終わったら、画像を転送する

- Nikon Transferの［転送開始］ボタンをクリックします。記録されているすべての画像がパソコンに転送されます（Nikon Transferの初期設定）。

- 転送が終わると、転送先のフォルダが自動的に開きます（Nikon Transferの初期設定）。
- Nikon Transferの操作方法については、Nikon Transferのヘルプをご覧ください。

6 転送が終わったら、カメラとパソコンの接続を外す

カメラの電源をOFFにして、オーディオビデオ/USBケーブルを抜きます。

Windows 2000 Professionalをお使いの方へ

カードリーダーなどの機器を使って、SDカードの画像をパソコンに転送してください。

2 GB以上のSDカードをお使いの場合は、カードリーダーなどの機器がSDカードに対応している必要があります。

- カードリーダーなどにSDカードを挿入すると、Nikon Transferが自動起動します（Nikon Transferの初期設定）。上記の手順5を参照して、画像を転送してください。
- カメラをパソコンに接続しないでください。接続してしまった場合は、パソコンに［新しいハードウェアの検索ウィザードの開始］と表示されます。［キャンセル（中止）］を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。
- 内蔵メモリーのデータは、カメラでSDカードにコピーしてから（71、100）転送してください。

パソコンで画像を表示したり音声を再生するには

- 画像を保存した転送先のフォルダを開き、OS付属のビューアなどで表示してください。
- 音声データは、QuickTimeなどで再生できます。

パノラマ写真に合成するには（Panorama Maker）

- シーンモードの［パノラマアシスト］機能（40）を使って撮影した画像を、Panorama Makerを使ってパノラマ写真に合成できます。
- Panorama Makerは、付属のSoftware Suite（CD-ROM）でインストールできます。
- Panorama Makerをインストールしたら、次のように起動します。

  Windows：

  ［スタート］から［すべてのプログラム］（Windows 2000は［プログラム］）→［ArcSoft Panorama Maker 4］→［Panorama Maker 4］の順にクリックしてください。

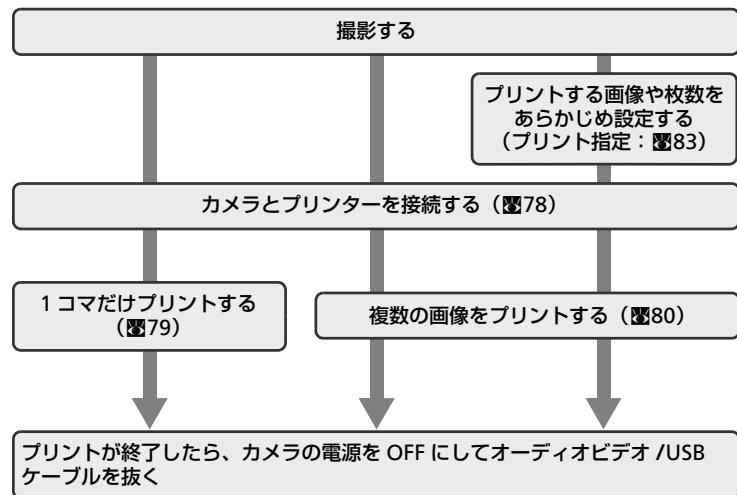
  Macintosh：

  ［アプリケーション］フォルダを開き、［Panorama Maker 4］をダブルクリックしてください。
- Panorama Makerの使い方は、Panorama Makerの操作画面やヘルプをご覧ください。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダ名→（119）

プリンターに接続する

PictBridge（🔍137）対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます（ダイレクトプリント）。ダイレクトプリントの手順は、以下のとおりです。

電源についてのご注意

カメラをプリンターに接続するときは、途中でバッテリーが切れないように、充分に充電したバッテリーをお使いください。

画像のプリント方法について

SDカードに記録した画像は、パソコンに転送したり、カメラをプリンターに接続してプリントする他に次の方法でプリントできます。

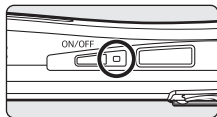
- カードスロットが付いたDPOF対応プリンターでプリントする。
- プリントサービス店にプリントを依頼する。

これらの方法でプリントするときは、プリントする画像やプリント枚数などを、カメラの［プリント指定］メニューを使って、あらかじめSDカードに設定できます（🔍83）。

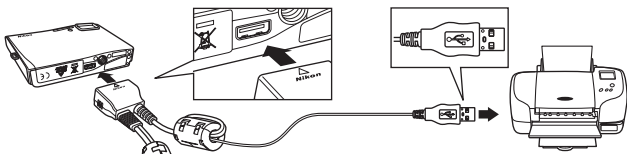
イメージリンク対応プリンターでプリントする

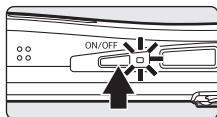
イメージリンク対応プリンターにカメラを直接取り付けてプリントできます。詳しくは、🔍85とプリンターの説明書をご覧ください。

カメラとプリンターを接続する

1 カメラの電源をOFFにする

2 プリンターの電源をONにする

- プリンターの設定を確認してください。

3 付属のオーディオビデオ/USBケーブルで、カメラとプリンターを接続する

4 カメラの電源をONにする

- 正しく接続されると、カメラの液晶モニターに①の画面が表示された後、［プリント画像選択］画面②が表示されます。

①

②

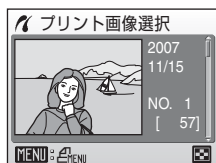
ケーブル接続時のご注意

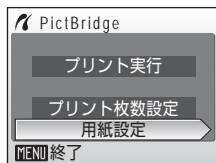
ケーブルを接続するときは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。

1コマだけプリントする

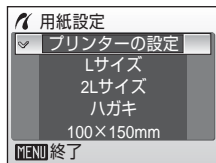
あらかじめカメラとプリンターを正しく接続してから（78）、次の手順でプリントしてください。

1 ロータリーマルチセレクターでプリントしたい画像を選び、Ⓚボタンを押す

- ［PictBridge］画面が表示されます。
- **W**（▦）ボタンを押すと12コマ表示に、**T**（Q）ボタンを押すと1コマ表示に切り換ります。

2 ［プリント枚数設定］を選び、Ⓚボタンを押す

3 プリント枚数（9枚まで）を設定し、Ⓚボタンを押す

4 ［用紙設定］を選び、Ⓚボタンを押す

5 用紙サイズを選び、Ⓚボタンを押す

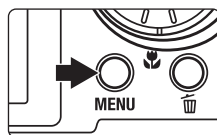
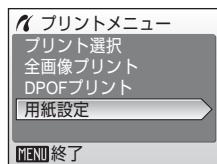
- プリンターの設定を優先したいときは、［プリンターの設定］を選んでⓀボタンを押します。

6 ［プリント実行］を選び、Ⓚボタンを押す

7 プリントがはじまる
- プリントが終わると、手順1の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、Ⓚボタンを押します。

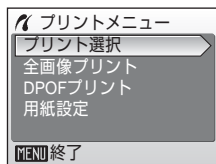
プリント中の枚数/総枚数

複数の画像をプリントする

あらかじめカメラとプリンターを正しく接続してから（78）、以下の手順でプリントしてください。

1 ［プリント画像選択］画面が表示されたら、MENUボタンを押す
- ［プリントメニュー］画面が表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで［用紙設定］を選び、Ⓚボタンを押す

3 用紙サイズを選び、Ⓚボタンを押す

- プリンターの設定を優先したいときは、[プリンターの設定]を選んでⓀボタンを押します。

4 [プリント選択]、[全画像プリント]または[DPOFプリント]を選んで、Ⓚボタンを押す

プリント選択

プリントする画像と、それぞれのプリント枚数(各9枚まで)を設定します。

- ロータリーマルチセレクターを回して画像を選び、▲▼ を押してプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を 0 にすると、チェックマークが消え、その画像の選択が解除されます。
- **T**(Q)ボタンを押すと 1 コマ表示に、**W**(▦)ボタンを押すと 12 コマ表示に切り換ります。
- 設定が終了したら Ⓚ ボタンを押します。
- 右の画面が表示されます。
- [プリント実行]を選び、Ⓚ ボタンを押すと画像がプリントされます。
- [キャンセル]を選んで Ⓚ ボタンを押すと、[プリントメニュー]画面に戻ります。

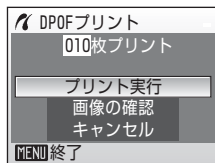
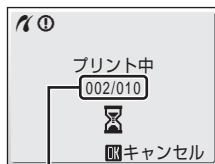
全画像プリント

SDカードまたは内蔵メモリー内のすべての画像を1枚ずつプリントできます。

- 右の画面が表示されます。
- [プリント実行]を選び、Ⓚ ボタンを押すと画像がプリントされます。
- [キャンセル]を選んで Ⓚ ボタンを押すと、[プリントメニュー]画面に戻ります。

DPOFプリント

［プリント指定］（83）であらかじめ指定しておいた画像をプリントできます。
- 右の画面が表示されます。
- ［プリント実行］を選び、OK ボタンを押すと画像がプリントされます。
- ［キャンセル］を選んで OK ボタンを押すと、［プリントメニュー］画面に戻ります。

- ［画像の確認］を選んで OK ボタンを押すと、プリント指定した画像が確認できます。もう一度 OK ボタンを押すと、画像がプリントされます。

5 プリントがはじまる
- プリントが終わると、手順2の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、OK ボタンを押します。

プリント中の枚数/総枚数

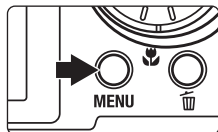
用紙設定について

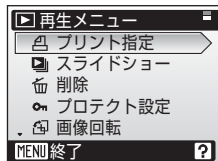
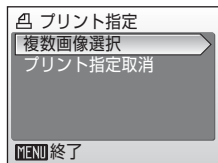
用紙設定画面では、［プリンターの設定］以外に、［L サイズ］、［2L サイズ］、［ハガキ］、［100×150 mm］、［4×6 in.］、［8×10 in.］、［Letter］、［A3 サイズ］、［A4 サイズ］のうち、プリンターが対応している用紙サイズが表示されます。プリンター側の設定を優先したいときは、［プリンターの設定］を選んでください。

SDカードにプリントする画像や枚数を設定する（プリント指定）

DPOF（🔍137）対応のプリンターやプリントサービス店で画像をプリントするときは、どの画像を何枚プリントするかをあらかじめ指定できます。
撮影日や撮影情報（シャッタースピードと絞り値）を画像に入れてプリントすることもできます。
プリント指定で設定した画像の選択やプリント枚数で、カメラをPictBridge対応プリンターに接続してプリントすることもできます。カメラからSDカードを取り外すと、内蔵メモリーに記録した画像にもプリント指定できます。

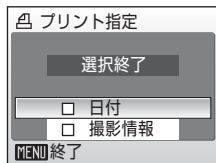
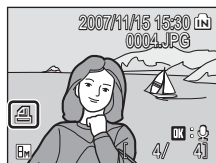
1 再生モードでMENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで［プリント指定］を選び、OKボタンを押す

- ［プリント指定］画面が表示されます。

3 ［複数画像選択］を選び、OKボタンを押す

4 プリントする画像と、それぞれのプリント枚数（各9枚まで）を設定する

- ロータリーマルチセレクターを回して画像を選び、▲▼を押してプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、チェックマークが消え、その画像の選択が解除されます。
- **T**（🔍）ボタンを押すと1コマ表示に、**W**（▦）ボタンを押すと12コマ表示に切り換ります。
- 設定が終了したらOKボタンを押します。

5 日付と撮影情報を画像に入れてプリントするかどうかを設定する

- ［日付］を選んで ⓚ ボタンを押すと、すべての画像に撮影日が印字されます。
- ［撮影情報］を選んで ⓚ ボタンを押すと、すべての画像に撮影情報が印字されます。ただしカメラとプリンターを接続してプリントするときは、［撮影情報］は印字できません。
- ［選択終了］を選んで ⓚ ボタンを押すと、設定が有効になります。

［プリント指定］を行った画像は、再生時の画面で確認できます。

プリント指定についてのご注意

プリント指定を行った後、再び［プリント指定］メニューを表示すると、［日付］と［撮影情報］の設定はリセットされますのでご注意ください。

プリント指定をすべて取り消すには

手順3で［プリント指定取消］を選び ⓚ ボタンを押します。すべての画像に対するプリント指定が取り消されます。

日付のプリントについて

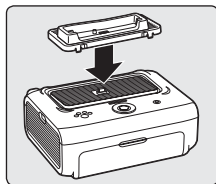
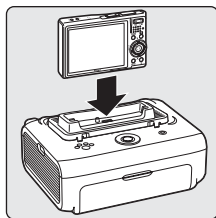
プリントされる日付は、撮影時点でカメラに設定されている日時です。撮影後にセットアップメニューの［日時設定］を変更してもプリントされる日付には反映されません。

［デート写し込み］との違いについて

［プリント指定］で設定した日付はDPOF対応（☞137）プリンターでのみプリント可能です（プリント位置はプリンターに依存します）。DPOFに対応していないプリンターで日付をプリントするときは、セットアップメニューの［デート写し込み］（☞109）をお使いください（プリント位置は固定です）。両方を設定すると、DPOF対応プリンターを使用しても［デート写し込み］による日付のみプリントされます。

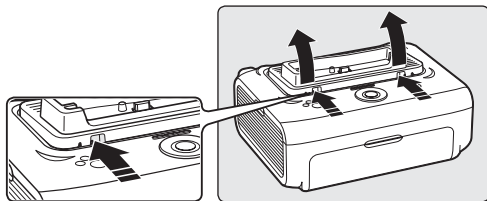
イメージリンク対応のプリンターと接続する

プリンターの操作方法については、プリンターの使用説明書をご覧ください。

1 付属のドックインサート PV-12 をプリンターに取り付ける

2 カメラの電源をOFFにして、ドックインサートに取り付ける

3 プリントする

- プリンターの説明書にしたがってプリントしてください。

ドックインサートを取り外すときは

2ヶ所の印に親指をかけ、押しながら持ち上げてください。

イメージリンク対応プリンター接続時のご注意

カメラをプリンターに接続後、プリンターを操作しない状態が約1分以上続くと、液晶モニターの表示が暗くなります。そのまま約7分経過すると、自動的にカメラの電源がOFFになります。

撮影に関する設定―撮影メニュー

撮影メニュー、高感度メニューには、以下の項目があります。

画像モード※1 87

記録時の画像モード（画像の大きさと圧縮率の組み合わせ）を設定します。

ホワイトバランス※1 89

画像が見た目に近い色で記録されるように、光源に合わせてホワイトバランスを設定します。

連写※1 91

連写（連続撮影）するかどうかを設定します。

BSS※1 92

ベストショットセレクター（最大10コマを連写し、最も鮮明な1コマをカメラが自動的に選んで記録する機能）を設定します。

ISO感度設定※2 93

被写体の明るさなどに応じて、ISO感度を設定します。

ピクチャーカラー※1 93

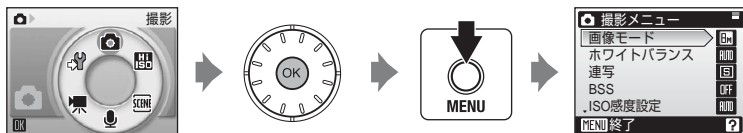
撮影する画像の色調について設定します。

AFエリア選択 94

画面のどの位置でピントが合うかを設定します。

※1 これらの機能は、他の機能と同時に設定できないことがあります（95）。
※2 高感度メニューでは、設定できません。

撮影メニュー/高感度メニューの表示方法

撮影時にMODEボタンを押して撮影モードメニューを表示させ、ロータリーマルチセレクターで（オート撮影）または（高感度）を選んでボタンを押します。MENUボタンを押すと、撮影メニューまたは高感度メニューが表示されます。

- メニューの選択と設定にはロータリーマルチセレクターを使います（9）。
- 撮影メニュー、高感度メニューを終了するには、MENUボタンを押します。

画像モード

画像モード（画像サイズと圧縮率の組み合わせ）を選びます。画像の用途や内蔵メモリー/SDカードの残量に合わせて設定してください。画像サイズの大きい画像モードほど、大きくプリントするのに適していますが、記録できるコマ数は少なくなります。

画像モード	画像サイズ（ピクセル）	内　容
高画質（3264★）	3,264×2,448	［標準］よりも精細な画像になります。圧縮率は約1/4です。
標準（3264）（初期設定）	3,264×2,448	ファイルサイズと画質のバランスが良く、一般的な撮影に適した画像モードです。圧縮率は約1/8です。
標準（2592）	2,592×1,944	
エコノミー（2048）	2,048×1,536	［標準］よりも画像サイズが小さいため、より多く撮影できます。圧縮率は約1/8です。
パソコン（1024）	1,024×768	パソコンのモニターに表示するときに適しています。圧縮率は約1/8です。
TV（640）	640×480	電子メールへの添付や、テレビへの表示に適しています。圧縮率は約1/8です。
16:9	3,200×1,800	縦横比が16:9の画像を撮影できます。圧縮率は約1/8です。

画像モードの設定は、撮影時や再生時の画面で確認できます（6、7）。

画像モードと記録可能コマ数

内蔵メモリーや256 MBのSDカードに記録できるおおよそのコマ数は以下のとおりです。ただし、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって記録可能コマ数は大きく異なります。同じ容量のSDカードでも、カードの種類によって、記録可能コマ数が異なることがあります。

画像モード	内蔵メモリー（約13 MB）	SDカード※1（256 MB）	プリント時の大きさ（出力解像度300 dpiの場合）※2
高画質（3264★）	3コマ	約60コマ	約28×21 cm
標準（3264）	5コマ	約115コマ	約28×21 cm
標準（2592）	9コマ	約180コマ	約22×16.5 cm
エコノミー（2048）	14コマ	約285コマ	約17×13 cm
パソコン（1024）	44コマ	約900コマ	約9×7 cm
TV（640）	88コマ	約1,750コマ	約5×4 cm
16:9	8コマ	約160コマ	約27×15.5 cm

※1 記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。

※2 ピクセル数÷プリンター解像度（dpi）× 2.54 cm で計算しています。撮影した画像を印刷するときのプリントのサイズはプリンターの解像度によって変わります。

画像モードの設定について

画像モードはシーンメニュー、フェイスクリアーメニューからでも設定できます。どのメニューから設定しても同じ設定になります。

WB　ホワイトバランス

人間の目は晴天、曇り空、白熱電球や蛍光灯の室内など、光源の色に関係なく白い被写体は白く見えます。人間の目に白く見える色を、デジタルカメラで白く撮影するには、光源の色に合わせて調整を行う必要があります。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。
初期設定の［オート］でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせて設定を変更してください。

AUTO　オート（初期設定）

カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。ほとんどの場合、この設定のままで撮影できます。

PRE　プリセットManual（プリセットマニュアル）

特殊な照明の下などでの撮影に適しています（90）。

晴天

晴天の屋外での撮影に適しています。

電球

白熱電球の下での撮影に適しています。

蛍光灯

白色蛍光灯の下での撮影に適しています。

曇天

曇り空の屋外での撮影に適しています。

フラッシュ

フラッシュを使う撮影に適しています。

ホワイトバランスの設定は、撮影時の画面で確認できます（［オート］のときは、何も表示されません）（6）。

［オート］、［フラッシュ］以外を選んだとき

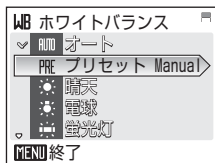
［オート］、［フラッシュ］以外のホワイトバランスを選んだときは、フラッシュを（発光禁止）に設定してください（28）。

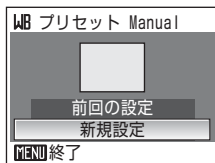
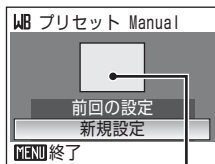
プリセットマニュアルの使い方

特殊な照明の下で撮影するときなど、［オート］や［電球］などの設定では望ましい結果が得られない場合に使用します（赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せたいときなど）。

1 撮影する照明下で、白またはグレーの被写体を用意する

2 ロータリーマルチセレクターで［ホワイトバランス］画面の［PRE プリセットManual］を選び、OKボタンを押す

- レンズが望遠側にズームします。

3 ［新規設定］を選ぶ

- 前回プリセットしたホワイトバランスを使いたいときは、［前回の設定］を選んでOKボタンを押してください。ホワイトバランスが前回のプリセット値に設定されます。

4 測定窓に、用意した白またはグレーの被写体を写す

5 OKボタンを押す

- シャッターがきれて、ホワイトバランスのプリセット値が新たに設定されます。
- 画像は記録されません。

プリセットマニュアルについてのご注意

手順5でOKボタンを押したとき、フラッシュは発光しません。このため、フラッシュ撮影時のホワイトバランスの測定はできません。

❑ 連写

連写（連続撮影）するための設定です。連写中のピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。

S 単写（初期設定）

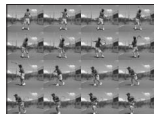
1コマずつ撮影します。

❑ 連写

シャッターボタンを全押ししている間、約0.8コマ/秒で連写できます（画像モードが 8M 標準（3264）のとき）。

マルチ連写

シャッターボタンを1回全押しすると約0.8コマ/秒で16コマの連続写真を撮影し、右のような1コマの画像（7M 3,200 × 2,400ピクセル、圧縮率約1/8）として記録します。

- 電子ズームは使えません。

連写モードの設定は、撮影時の画面で確認できます（［単写］のときは、何も表示されません）（6）。

連写についてのご注意

画像モードやSDカードの種類により、最大連写速度が遅くなることがあります。

BSS BSS

手ブレしやすい状況での撮影に便利なBSS（ベストショットセレクター）を設定します。
［ON］に設定すると、フラッシュが発光禁止になり、ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマで固定されます。

BSS	**ON**
	暗い場所でフラッシュを使わずに撮影するときや、望遠側で撮影するときなど、手ブレしやすい状況で撮影する場合に設定します。［ON］にすると、シャッターボタンを全押ししている間、連写を続け（最大10コマ）、撮影した画像の中から最も鮮明に撮れている1コマをカメラが自動的に選んで記録します。
OFF	**OFF（初期設定）**
	通常通り、1コマ撮影します。

BSSの設定は、撮影時の画面で確認できます（6）。

BSSについてのご注意

BSSは静止している被写体の撮影に効果的ですが、動いている被写体の撮影や、構図を変えながらの撮影では、望ましい結果が得られないことがあります。

ISO ISO感度設定

フィルムカメラで使うフィルムのISO感度に相当する数値を設定します。ISO感度を高くすると、暗い場所や動いている被写体の撮影に効果的ですが、撮影した画像が多少ざらつくことがあります。
［オート］（初期設定）にすると、明るい場所ではISO 100になります。暗い場所では、自動的にISO 800までISO感度が高くなります。ISO感度を固定するときは、［100］［200］［400］［800］［1600］から選んでください。
ISO感度の設定は、撮影時の表示で確認できます（6）。［オート］に設定した場合、ISO 100で撮影できるときは何も表示されず、ISO感度が自動的に上がったときに［ISO］マークが表示されます（29）。

ピクチャーカラー

記録する画像の色調を変えます。

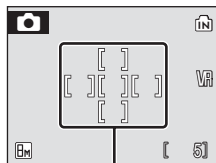
	標準カラー（初期設定）
	自然な色調になります。
	ビビッドカラー
	はっきりした色調になります。
	白黒
	モノクロになります。
	セピア
	セピア色になります。
	クール
	ブルー系のモノトーンになります。

ピクチャーカラーの設定は、撮影時の画面で確認できます（［標準カラー］のときは、何も表示されません）。また設定に応じて、画面の色調も変わります（6）。

[+] AFエリア選択

画面のどの位置でピントが合うかを設定します。

[■]	オート

5つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアにピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、ピントが合ったAFエリアが画面に表示されます。

[⁝]	マニュアル

画面内の99ヵ所からピントを合わせたい位置を選びます。ロータリーマルチセレクターの▲▼◀▶ を押して、画面に表示されているAFエリアを、ピントを合わせたい位置に動かしてから撮影します。
AFエリア選択中にフラッシュモードやマクロモード、セルフタイマー、露出補正の設定を変更するには、Ⓚボタンを押していったんAFエリア選択状態を解除し、それぞれの設定を行います。Ⓚボタンを押すと、再びAFエリア選択状態に戻ります。

[▪]	中央（初期設定）

画面中央の被写体にピントが合います。
AFエリアが画面中央に常に表示されます。

同時に設定できる機能の制限

📷モードでは、以下のように、複数の機能を同時に設定できないことがあります。

フラッシュモード

［連写］モードを［連写］または［マルチ連写］にするか、［BSS］を［ON］にすると、フラッシュモードは⊛に固定されます。
［連写］モードを［単写］に戻す、または［BSS］を［OFF］に戻すと、元のフラッシュモードに戻ります。

セルフタイマー

セルフタイマーをONにすると、
- ［連写］モードは設定に関わらず、［単写］として動作します。
- ［BSS］は設定に関わらず、［OFF］として動作します。

セルフタイマーをOFFにする（またはセルフタイマー撮影が完了する）と、［連写］モードまたは［BSS］の設定が有効になります。

連写

［連写］モードを［連写］または［マルチ連写］のいずれかにすると、［BSS］は［OFF］に変更されます。また、［マルチ連写］にすると、［画像モード］は7Mに変更されます。
［連写］モードを［単写］に戻しても、［BSS］は［OFF］のままです。

BSS

［BSS］を［ON］にすると、［連写］モードは［単写］に変更されます。
［BSS］を［OFF］に戻しても、［連写］モードは［単写］のままです。

ホワイトバランスとピクチャーカラー

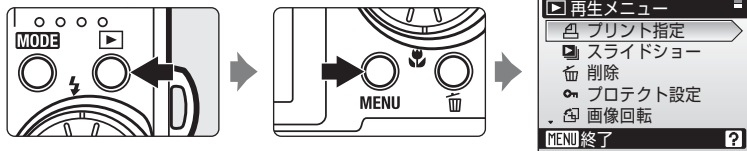
［ピクチャーカラー］を［白黒］、［セピア］、または［クール］のいずれかにすると、［ホワイトバランス］は［オート］に固定されます。
［ピクチャーカラー］を［標準カラー］または［ビビッドカラー］に戻すと、元の［ホワイトバランス］の設定に戻ります。

再生に関する設定―再生メニュー

再生メニューには、以下の項目があります。

🖶	**プリント指定**	83
	プリンターでプリントする画像や、その枚数などを設定します。	
	スライドショー	98
	内蔵メモリー /SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。	
	削除	99
	画像を削除します。	
	プロテクト設定	99
	大切な画像を誤って削除しないように、プロテクト（保護）します。	
	画像回転	100
	撮影した静止画の向きを変更します。	
	スモールピクチャー	50
	撮影した画像から、サイズの小さい画像を新しく作ります。	
	画像コピー	100
	内蔵メモリーとSDカードの間で画像をコピーします。	

再生メニューの表示方法

再生メニューを表示するには、▶ボタンを押して画像を再生し、MENUボタンを押すと再生メニューが表示されます。

- メニューの選択と設定にはロータリーマルチセレクターを使います（9）。
- 再生メニューを終了するには、MENUボタンを押します。

画像選択画面の操作方法

再生メニューの［プリント指定］（🔍83）、［削除］（🔍99）、［プロテクト設定］（🔍99）、［画像回転］（🔍100）、［画像コピー］（🔍100）およびセットアップメニューの［オープニング画面］（🔍104）では、右のような画像選択画面が表示されます。操作方法は以下のとおりです。

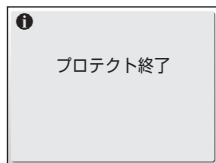
1 ロータリーマルチセレクターで画像を選ぶ

- ［画像回転］、［オープニング画面］の画像選択では、1画像しか選べません。→手順3へ
- **T**（🔍）ボタンを押すと 1 コマ表示に、**W**（▦）ボタンを押すと12コマ表示に切り換ります。

2 ▲▼を押してON/OFF（または枚数）を設定する

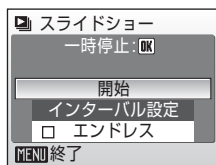
- ON にすると、選択画像左上にチェックマークが表示されます。ほかの画像にも設定したいときは、手順1、2を繰り返してください。

3 ⓚボタンを押す

- 設定が有効になります。

スライドショー

内蔵メモリー/SDカードに記録されている画像を、1コマずつ順番に自動的に連続再生します。

1 ［スライドショー］画面で、ロータリーマルチセレクターで［開始］を選び、OKボタンを押す

- 画像が表示される時間を変更するには、［開始］を選ぶ前に［インターバル設定］を選んでOKボタンを押し、画像の表示時間を選んでください。
- 繰り返し再生するには、［開始］を選ぶ前に［エンドレス］を選んでOKボタンを押し、チェックボックスをオン［✔］にしてください。

2 スライドショーが始まる

- スライドショーの再生中は、次の操作ができます。
  - ロータリーマルチセレクターで前後の画像を表示できます（回し続けると早送り/早戻しになります）。
  - OKボタンを押すと一時停止します。
- スライドショー終了時や一時停止時は、右の画面が表示されます。［終了］を選んでOKボタンを押すと再生メニューに戻り、［再開］を選んでOKボタンを押すとスライドショーが再開されます。

スライドショーについてのご注意

- 動画（66）は1フレーム目だけが表示されます。
- ［エンドレス］で再生していても、何も操作しないで約30分経過すると、液晶モニターが消灯します。何も操作しないまま、さらに約3分経過すると、電源がOFFになります。

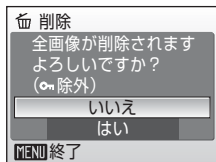
🗑 削除

画像を削除できます。
SDカードがカメラに入っていないときは、内蔵メモリー内の画像が削除されます。
SDカードをカメラに入れると、SDカード内の画像が削除されます。

削除画像選択

画像選択画面（🔖97）で選んだ画像を削除します。

全画像削除

すべての画像を削除します。
- 削除確認画面で［はい］を選んで ⓚ ボタンを押すと、すべての画像が削除されます。
- キャンセルするときは［いいえ］を選んで ⓚ ボタンを押します。

画像削除についてのご注意

- 削除した画像はもとに戻せないのでご注意ください。残しておきたい画像はパソコンに転送して保存することをおすすめします。
- On マークが表示されている画像は、プロテクト（保護）されているので削除されません。

On プロテクト設定

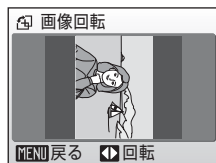
大切な画像を誤って削除してしまうことを防ぐために、画像にプロテクト（保護）を設定できます。ただし、内蔵メモリー/SDカードを初期化（フォーマット、🔖113）すると、プロテクト設定した画像も削除されるので、ご注意ください。

操作方法については→🔖97

プロテクト設定した画像には、1コマ再生モードと削除画像選択画面で On マーク（🔖7）が表示され、9コマサムネイル表示モードで🔑マーク（🔖44）が表示されます。

画像回転

再生時の画像の縦横位置情報を記録します。
撮影した静止画の向きを時計方向に90度、または反時計方向に90度回転できます。
画像選択画面（97）で回転する画像を選ぶと、［画像回転］画面が表示されます。ロータリーマルチセレクターを時計回りに回す（または▶ を押す）と静止画の向きが時計方向に90度回転します。反時計回りに回す（または◀を押す）と反時計方向に90度回転します。
セットアップメニューの［縦位置情報の記録］（112）を［オート］（初期設定）にして縦位置で撮影した画像は、時計回り/反時計回りのどちらか一方向に180度まで回転できます。

反時計方向に
90 度回転

時計方向に
90 度回転

OKボタンを押すと、表示している方向で設定が記録されます。

画像コピー

内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。
最初にコピー元/コピー先を選びます。

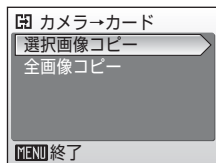
IN→SD

内蔵メモリーに記録されている画像をSDカードへコピーします。

SD→IN

SDカードに記録されている画像を内蔵メモリーへコピーします。

次にコピー方法を選びます。
［選択画像コピー］は、コピーしたい画像を選び（97）コピーできます。［全画像コピー］は内蔵メモリー /SDカードのすべての画像をコピーできます。

撮影、再生、セットアップメニューを使う

画像コピーについてのご注意

- 画像コピー中にコピー先の空き容量が不足したときは、画像コピーが中止され、エラーメッセージが表示されます。
- コピーできる画像ファイルの形式は、JPEG、AVI、WAV です。これ以外の形式の画像ファイルはコピーできません。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像のコピーはできません。

［撮影画像がありません］のメッセージについて

SDカードに画像が記録されていないときに再生モードに切り換えると、［撮影画像がありません］と表示されますが、MENUボタンを押すと［画像コピー］画面が表示され、内蔵メモリーの画像をSDカードにコピーできます。

コピーした画像のファイル名について

- 選択画像コピーを行うと、コピー先にすでに作成されているフォルダ内に選択した画像がコピーされ、コピー先およびコピー元双方での最も大きいファイル番号＋1からの連番で、ファイル名が付きます。

  例：コピー元メモリーのファイル番号の最大値が 32（DSCN0032.JPG）で、コピー先メモリーのファイル番号の最大値が18（DSCN0018.JPG）のときは、コピーした画像のファイル名は、DSCN0033からの連番になります。
- 全画像コピーを行うと、内蔵メモリー/SDカードの全画像がフォルダごとコピーされます。フォルダ名は、新規のフォルダ番号（コピー先にある最大の番号に1を加えた番号）を付けた名前となります。コピー先に新しいフォルダを作成できないときは、コピーは実行されず、エラーメッセージが表示されます。

プリント指定、プロテクト設定について

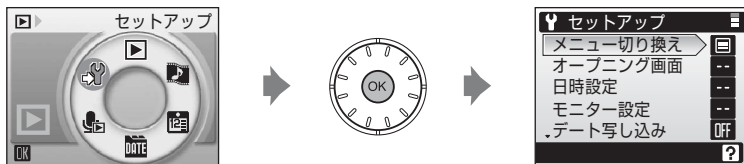
［プリント指定］（83）を行った画像をコピーしても、設定内容はコピーされません。ただし、［プロテクト設定］（99）をした画像をコピーしたときは、コピー先の画像もプロテクトされます。

カメラに関する基本設定—セットアップメニュー

セットアップメニューには、以下の項目があります。

MENU	メニュー切り換え	103
	メニューの表示形式を切り換えます。	
	オープニング画面	104
	電源をONにしたときに表示される「オープニング画面」について設定します。	
	日時設定	105
	内蔵時計を合わせます。	
	モニター設定	108
	画面の表示内容や明るさを設定します。	
DATE	デート写し込み	109
	画像に撮影日時を写し込む設定を行います。	
VR	手ブレ補正	111
	手ブレ補正を行うかどうかを設定します。	
	AF補助光	111
	AF補助光を使用するかどうかを設定します。	
	操作音	112
	操作音について設定します。	
	縦位置情報の記録	112
	撮影時のカメラの向きを情報として記録するかどうか設定します。	
	オートパワーオフ	112
	待機状態に入るまでの時間を設定します。	
IN/	メモリーの初期化/カードの初期化(フォーマット)	113
	内蔵メモリー /SDカードを初期化します。	
	言語/LANGUAGE	114
	画面に表示される言語を設定します。	
	ビデオ出力	114
	ビデオの出力方式を設定します。	
C	設定クリアー	115
	各種設定を初期状態に戻します。	
Ver.	バージョン情報	117
	ファームウェアの情報を表示します。	

セットアップメニューの表示方法

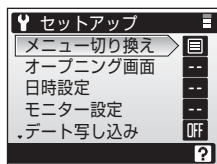
MODE ボタンを押して再生モードメニューまたは撮影モードメニューを表示させ、ロータリーマルチセレクターで（セットアップ）を選んで OK ボタンを押すと、セットアップメニューが表示されます。

- メニューの選択と設定にはロータリーマルチセレクターを使います（9）。
- セットアップメニューを終了するには、MODE ボタンを押します。

MENU メニュー切り換え

撮影メニュー（86）、高感度メニュー（86）、シーンメニュー（34）、動画メニュー（62）、フェイスクリアーメニュー（43）、再生メニュー（96）、セットアップメニュー（102）の第一階層（MENU ボタンで最初に表示されるメニュー）の表示方法を、［文字タイプ］（初期設定）と［アイコンタイプ］の2種類から選択できます。
［アイコンタイプ］に設定するとメニューの全項目を1画面に表示できます。アイコンタイプの場合、選択中のメニュー名が画面上部に表示されます。

文字タイプ

アイコンタイプ

撮影、再生、セットアップメニューを使う

オープニング画面

カメラの電源をONにしたときに液晶モニターに表示されるオープニング画面を設定します。

なし（初期設定）

電源をONにしたとき、オープニング画面は表示されず、すぐに撮影できる状態になります。

COOLPIX

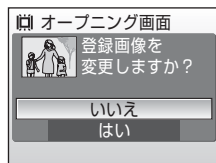
電源をONにしたとき、オープニング画面が表示されます。

撮影した画像

内蔵メモリー/SDカードの画像を、オープニング画面として登録できます。
［画像の選択］画面で画像を選び（97）、OKボタンを押します。
登録した画像はカメラに記憶されるため、その画像を削除したりSDカードを入れかえたりしても、オープニング画面は変わりません。

- ［画像モード］（87）を［16:9］にして撮影した画像は選べません。

［撮影した画像］を選んだ場合

すでに画像を登録していると、登録していた画像を変更するかどうかを確認する画面が表示されます。

⊕ 日時設定

カメラに内蔵された時計を設定します。
海外旅行などに便利なワールドタイム（時差を自動的に計算する）機能も設定できます。

日時

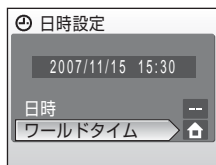
内蔵時計の日付と時刻を設定します。
設定方法については→16～17

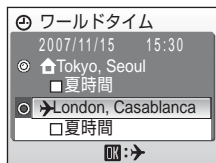
ワールドタイム

自宅（⌂）のタイムゾーン（地域）や夏時間（サマータイム）の設定や変更を行います。また、訪問先のタイムゾーン（✈）を登録すると、自宅（⌂）との時差（107）を自動的に計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。海外旅行などに便利です。

時差のある地域で使うには

1 ロータリーマルチセレクターで［ワールドタイム］を選び、OKボタンを押す

- ［ワールドタイム］画面が表示されます。

2 ✈（訪問先）を選び、OKボタンを押す

- 訪問先の時計に切り換わります。
- 夏時間（サマータイム）が現在実施されている地域でお使いになる場合は、ロータリーマルチセレクターで［夏時間］を選んでOKボタンを押し（時間が1時間進みます）、▲を押します。

3 ▶ を押す

- ［訪問先の設定］画面が表示されます。

撮影、再生、セットアップメニューを使う

4 訪問先の地域を選び、Ⓚボタンを押す

- 訪問先の地域が切り換わります。
- 訪問先の時計に設定されているときは、撮影時の画面に✈マークが表示されます。

日時設定についてのご注意

カメラの内蔵時計は、カメラのバッテリーとは別の時計用電池で動いています。カメラにバッテリーを入れるかACアダプターを接続すると、時計用電池が約10時間で充電され、数日間、設定した日時を記憶できます。

⌂（自宅）の設定について

- 自宅のタイムゾーンに戻すには、手順2で⌂（自宅）マークを選んでください。
- 自宅のタイムゾーンを変更するには、手順2で⌂（自宅）マークを選び、✈（訪問先）と同様の手順でタイムゾーンを変更してください。

夏時間の設定について

- 夏時間（サマータイム）が実施されていないときに日時設定した場合；
  日時設定後に夏時間が実施された場合は、［夏時間］のチェックボックスをオン［✔］にすれば、カメラの時刻が1時間進みます。
- 夏時間の実施中に［夏時間］のチェックボックスをオン［✔］にして日時設定した場合；
  日時設定後に夏時間の期間が終了したときは、［夏時間］のチェックボックスをオフにすれば、カメラの時刻が1時間戻ります。

タイムゾーンについて（17）

タイムゾーンと時差の関係は以下のとおりです。以下の表にない時差の場合は、［日時設定］で正確な時刻に合わせてください。

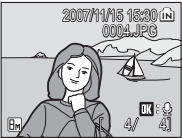
時差 +/–	タイムゾーン
–20	Midway, Samoa（ミッドウェー、サモア）
–19	Hawaii, Tahiti（ハワイ、タヒチ）
–18	Alaska, Anchorage（アラスカ、アンカレッジ）
–17	PST (PDT): Los Angeles, Seattle, Vancouver（ロサンゼルス、シアトル、バンクーバー）
–16	MST (MDT): Denver, Phoenix, La Paz（デンバー、フェニックス、ラパス）
–15	CST (CDT): Chicago, Houston, Mexico City（シカゴ、ヒューストン、メキシコシティー）
–14	EST (EDT): New York, Toronto, Lima（ニューヨーク、トロント、リマ）
–13	Caracas, Manaus（カラカス、マナウス）
–12	Buenos Aires, SaoPaulo（ブエノスアイレス、サンパウロ）
–11	Fernando de Noronha（フェルナンド・デ・ノローニャ）
–10	Azores（アゾレス）
–9	London, Casablanca（ロンドン、カサブランカ）

時差 +/–	タイムゾーン
–8	Madrid, Paris, Berlin（マドリード、パリ、ベルリン）
–7	Athens, Helsinki（アテネ、ヘルシンキ）
–6	Moscow, Nairobi（モスクワ、ナイロビ）
–5	Abu Dhabi, Dubai（アブダビ、ドバイ）
–4	Islamabad, Karachi（イスラマバード、カラチ）
–3.5	New Delhi（ニューデリー）
–3	Colombo, Dhaka（コロンボ、ダッカ）
–2	Bangkok, Jakarta（バンコク、ジャカルタ）
–1	Beijing, Hong Kong, Singapore（北京、香港、シンガポール）
±0	Tokyo, Seoul（東京、ソウル）
+1	Sydney, Guam（シドニー、グアム）
+2	New Caledonia（ニューカレドニア）
+3	Auckland, Fiji（オークランド、フィジー）

モニター設定

画面の表示内容や明るさを設定します。

モニター表示設定

撮影、再生時の画面に表示される情報について設定します。

画面の明るさ

画面の明るさを5段階で調節できます。

[モニター表示設定]について

画面に表示される情報に関する設定を行います。
液晶モニターの表示内容については→6

	撮影時	再生時
情報ON	IN VR [5]	2007/11/15 15:30 IN 0004.JPG OK: [4/ 4]
情報AUTO(初期設定)	[情報ON]と同じ表示が5秒間続いた後、[情報OFF]に切り換わります。	
情報OFF		
方眼+情報AUTO	IN VR [5] モードまたは高感度モードでは[情報AUTO]の表示内容に加えて、構図を決める際の参考となる格子線が表示されます。 他の撮影モードでは、[情報AUTO]と同じです。	2007/11/15 15:30 IN 0004.JPG OK: [4/ 4] [情報AUTO]と同じです。

デート写し込み

画像に直接日時を写し込みます。DPOF（137）に対応していないプリンターで日付入り画像をプリントしたいときなどに使用します。

OFF（初期設定）

日付、時刻のどちらも写し込みません。

年・月・日

撮影した画像の右下に、日付が写し込まれます。

年・月・日・時刻

撮影した画像の右下に、日付と時刻が写し込まれます。

誕生日カウンター

お子様の成長記録や植物の観察日記などに便利な機能です。

デート写し込みの設定は、撮影時の画面で確認できます（6）。［OFF］のときは何も表示されません。

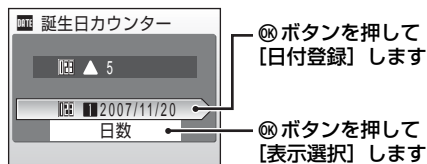
デート写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。
- ［画像モード］（87）が［TV（640）］の画像にデート写し込みを行うと、写し込んだ日付が見えにくい場合があります。画像モードは［パソコン（1024）］以上に設定してください。
- 年月日の並びは、［日時設定］（16、105）での設定と同じになります。

「デート写し込み」と「プリント指定」の違いについて

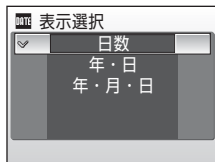
DPOF対応のプリンターでプリントするときは、［プリント指定］（83）で撮影日時や撮影情報をプリントするように設定できます。「デート写し込み」と「プリント指定」の違いについては、「［デート写し込み］との違いについて」（84）をご覧ください。

誕生日カウンターの使い方

特定の日付からの日数を画像に入れられます。誕生日や結婚式までの日数をカウントダウン形式で入れたり、お子様が産まれた日からの経過日数を入れるなどの用途に使えます。

日付登録

1～3のいずれかを選んでロータリーマルチセレクターの▶ を押すと、[日付設定] 画面が表示されます（17）。日付を設定後、Ⓞボタンを押してください。日付は3種類まで登録できます。他の日付に切り換えるには、1～3のいずれかを選んでⒾボタンを押してください。

表示選択

日数の表示形式を選んでⓄボタンを押してください。

誕生日カウンターを使って撮影した画像には、以下のように写し込まれます。

記念日まであと 2 日の場合

記念日から 2 日後の場合

VR 手ブレ補正

手ブレ補正機能は、望遠側での撮影や、スローシャッターでの撮影時におこりがちな手ブレを効果的に補正します。すべての撮影モードで使用できます。

手ブレ補正の設定は、撮影時の画面で確認できます（［OFF］のときは、何も表示されません）（6）。

ON（初期設定）

静止画撮影だけでなく、動画撮影時の手ブレも補正します。また、流し撮りの動きをカメラが自動的に検出し、手ブレによる揺れのみを補正します。たとえば、横方向に流し撮りを行うときは縦方向の手ブレだけが、縦方向に流し撮りを行うときには横方向の手ブレだけが補正されます。三脚などでカメラを固定させて撮影するときは、手ブレ補正は［OFF］にしてください。

OFF

手ブレ補正を行いません。

手ブレ補正のご注意

- カメラの電源をONにした直後、または再生モードから撮影モードに切り換えた直後は、撮影画面の画像が安定してから撮影してください。
- 手ブレ補正機能を設定しても、撮影状況によっては手ブレを完全に補正できないことがあります。
- ［VR］はVibration Reductionの略称です。

AF補助光

［AUTO］（初期設定）に設定すると、暗い場所などで自動的にAF補助光が点灯します。
ただし、［AUTO］に設定していても、一部のシーンモードではAF補助光が点灯しません。
［OFF］に設定すると、AF補助光は点灯しません。暗い場所などでピントが合いにくくなることがありますので、ご注意ください。

操作音

操作音について設定します。

設定音

設定音（電子音1回：設定完了時など）、合焦音（電子音2回：ピントが合ったとき）および警告音（電子音3回：禁止動作を行ったときなど）のON（初期設定）/OFFを設定します。

シャッター音

シャッターをきったときのシャッター音のON（初期設定）/OFFを設定します。

縦位置情報の記録

撮影時のカメラの縦横位置情報を画像に記録するかどうかを設定します。
［AUTO］（初期設定）にすると、画像を再生するときに、記録した縦横位置情報を利用して、自動的に画像を回転表示します。［OFF］にすると、縦横位置情報は記録されず、常に横位置で表示されます。
撮影後の画像は再生メニューの［画像回転］で縦横位置情報を変更できます（100）。

オートパワーオフ

電源をONにしたまま何も操作しないで一定時間が過ぎると、バッテリーの消耗を抑えるために液晶モニターが消灯し、待機状態（21）に入ります。待機状態になると、電源ランプが点滅します。
待機状態に入るまでの時間を［30秒］、［1分］（初期設定）、［5分］、または［30分］から選べます。待機状態に入ってから、何も操作しないでさらに約3分経過すると、電源がOFFになります。

オートパワーオフについてのご注意

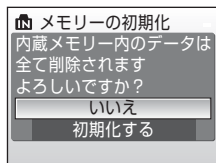
以下の場合は、待機状態に入るまでの時間が決まっています。

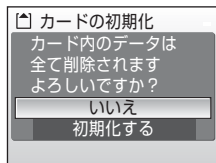
- オートパワーオフを［30秒］または［1分］に設定し、メニューを表示しているとき：3分
- スライドショーやPictmotionのエンドレス再生中、別売のACアダプターを接続中：30分

/　メモリー /カードの初期化（フォーマット）

内蔵メモリーまたはSDカードを初期化（フォーマット）します。

内蔵メモリーの初期化

内蔵メモリーを初期化するときは、SDカードを取り出してください。セットアップメニューの項目に［メモリーの初期化］が表示されます。

SDカードの初期化

SDカードをカメラに入れると、SDカードを初期化できます。セットアップメニューの項目に［カードの初期化］が表示されます。

初期化についてのご注意

- 内蔵メモリー/SDカードを初期化すると、内蔵メモリー/SDカード内のデータはすべて削除されます。必要なデータは初期化する前にパソコンなどに転送してください。
- 初期化中は、電源をOFFにしたり、バッテリーやSDカードを取り出したりしないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをCOOLPIX S51で初めて使うときは、初期化してからお使いください。

言語/LANGUAGE

画面に表示される言語を、日本語（初期設定）または英語に設定します。

ビデオ出力

ビデオの出力方式を［NTSC］と［PAL］から選びます。［NTSC］と［PAL］はいずれも、アナログカラーテレビ放送の規格です。日本ではNTSC方式が、欧州ではPAL方式が主流です。

C 設定クリアー

［はい］を選ぶと、カメラの以下の設定が初期設定にリセットされます。

撮影の基本機能

項目	初期設定
フラッシュモード（☞28）	AUTO
セルフタイマー（☞30）	OFF
マクロモード（☞31）	OFF
露出補正（☞32）	0.0

シーンモード

項目	初期設定
シーンメニュー（☞34）	ポートレート

フェイスクリアーメニュー

項目	初期設定
ポートレート効果（☞43）	標準

動画メニュー

項目	初期設定
動画設定（☞63）	カメラ再生320
ストップモーションの再生速度（☞64）	5fps
AF-MODE（☞65）	シングルAF

Pictmotionの設定

項目	初期設定
BGM（☞58）	ハイスピード
画像効果（☞59）	モーション
画像の再生方法（☞59）	ランダム再生
画像/音楽の優先（☞59）	音楽を優先
選択枚数（☞59）	30枚自動選択

撮影メニュー

項目	初期設定
画像モード（87）	8 M標準（3264）
ホワイトバランス（89）	オート
連写（91）	単写
BSS（92）	OFF
ISO感度設定（93）	オート
ピクチャーカラー（93）	標準カラー
AFエリア選択（94）	中央

セットアップメニュー

項目	初期設定
メニュー切り換え（103）	文字タイプ
オープニング画面（104）	なし
モニター表示設定（108）	情報AUTO
画面の明るさ（108）	3
デート写し込み（109）	OFF
手ブレ補正（111）	ON
AF補助光（111）	AUTO
設定音（112）	ON
シャッター音（112）	ON
縦位置情報の記録（112）	AUTO
オートパワーオフ（112）	1分

その他

項目	初期設定
音声レコードの音質設定（☞67）	高
用紙設定（☞79、80）	プリンターの設定
スライドショーのインターバル設定（☞98）	3秒

- ［設定クリアー］を行うと、ファイル番号の連番（☞119）もクリアーされます。クリアー後に撮影した画像には、内蔵メモリー /SD カード内の最大ファイル番号の次の番号から連番が付けられます。ファイル名の連番を0001 に戻したいときは、内蔵メモリー /SD カード内の画像をすべて削除（☞99）してから、［設定クリアー］を行ってください。
- 以下のセットアップメニューの項目は、［設定クリアー］を行っても初期設定には戻りません。
  ［日時設定］（☞105）、［誕生日カウンター］の登録日（☞110）、［言語/LANGUAGE］（☞114）、［ビデオ出力］（☞114）

Ver. バージョン情報

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

別売アクセサリー

充電式バッテリー	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL8
充電器	バッテリーチャージャー MH-62※
ACアダプター	ACアダプター EH-64※
イメージリンク対応プリンターアダプター	ドックインサート PV-12
オーディオビデオ/USBケーブル	オーディオビデオ/USBケーブル UC-E12

※ 日本国内専用電源コード（AC100V 対応）付属。日本国外でお使いになるには、別売の専用コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。
また、オンラインショップ（ニコンダイレクト）http://shop.nikon-image.com/ でもお求めいただけます。

推奨SDカード一覧

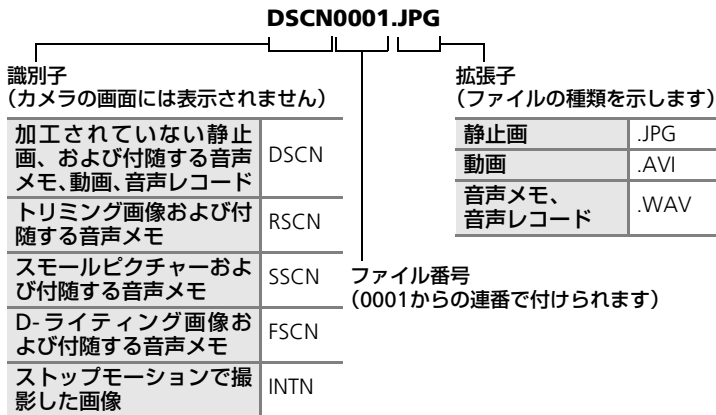
以下のSDカードの動作を確認しています。

SanDisk社製	128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB※1、4 GB※1、2 10 MB/sの高速転送タイプ:512 MB、1 GB、2 GB※1、4 GB※1、2 20 MB/sの高速転送タイプ:1 GB、2 GB※1
東芝製	128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB※1、4 GB※1、2 10 MB/sの高速転送タイプ:256 MB、512 MB、1 GB 20 MB/sの高速転送タイプ:512 MB、1 GB、2 GB※1
松下電器（Panasonic）製	128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB※1、4 GB※1、2 10 MB/sの高速転送タイプ:4 GB※1、2 20 MB/sの高速転送タイプ:512 MB、1 GB、2 GB※1、4 GB※1、2
Nikon製	10 MB/sの高速転送タイプ：1 GB

※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がこれらのSDカードに対応している必要があります。
※2 SDHC規格 に対応しています。

上記カードの機能、動作の詳細については、各カードメーカーにお問い合わせください。
最新の動作確認済みSDカードについては、当社ホームページのサポート情報をご覧ください。

記録データのファイル名とフォルダ名

このカメラで撮影した静止画、動画、および音声ファイルには、以下のようなファイル名が付けられます。

- ファイルが保存されるフォルダは、「フォルダ番号＋NIKON」（例：100NIKON）という名前で、自動的に作られます。フォルダ内のファイル数が 200 に達すると、新しいフォルダが作られます（例：100NIKON → 101NIKON）。フォルダ内のファイル番号が9999に達したときも新しいフォルダが作られ、ファイル番号は0001に戻ります。
- 音声レコード（☞67）のデータは「SOUND」（標準音質）または「SOUNE」（高音質）フォルダに保存されます。
- パノラマアシストモード（☞40）では、撮影のたびに「フォルダ番号＋P_XXX」という名前のフォルダ（例：101P_001）が作られ、ファイル番号0001から始まる一連の画像が保存されます。

- 画像データや音声データを内蔵メモリーとSDカードの間でコピーする場合（71、100）、ファイル名は以下のようになります。
  - 「選択画像コピー」または「選択データコピー」：使用中のフォルダ（または次回の撮影で使われるフォルダ）に、データがコピーされます。コピーされたデータのファイル名は、「内蔵メモリーおよびSDカード内の最大ファイル番号＋1」から連番で付けられます。
  - 「全画像コピー」または「全データコピー」：データはフォルダごとにコピーされます。フォルダ名は「コピー先の最大フォルダ番号＋1」から連番で付けられます。
    ファイル名は変わりません。
- Pictmotion（56）は「NKST」フォルダ内に保存されます。作成のたびに「NKST」フォルダ内に「3桁のフォルダ番号＋PRJCT」という名前のフォルダ（例：101PRJCT）が作られ、その中にそのPictmotionで使う画像と音楽ファイルがまとめて保存されます。
- フォルダ番号が 999 のときにファイル数が 200 個またはファイル番号が9999に達すると、それ以上撮影できません。SDカードを交換するか、内蔵メモリー/SDカードを初期化（113）してください。

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

レンズ

レンズのガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないように注意してください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布などでガラス部分の中央から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。汚れが取れないときは、乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。硬いもので拭くと傷が付くことがありますのでご注意ください。

液晶モニター

ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。強く拭くと破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

カメラボディー

ゴミやホコリをブロアーで吹き払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。
ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

保管について

長期間カメラをお使いにならないときは、バッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前に、電源がOFFになっていることをご確認ください。
次の場所にカメラを保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50℃以上、または－10℃以下の場所
- 湿度が60％を超える場所

取り扱い上のご注意

カメラについて

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズやレンズバリアーに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 水に濡らさないでください

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えないでください

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバックやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射はCCDの褪色・焼き付きを起こす恐れがあります。また、その際撮影された画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● 保管する際には

カメラを長期間お使いにならないときは、必ずバッテリーを取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

● バッテリーやACアダプターを取り外すときは必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態で、バッテリーやACアダプターを取り外すと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

● 液晶モニターについて

- 液晶モニターの特性上、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。記録される画像には影響はありません。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくいことがあります。
- 液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因になります。ホコリやゴミなどが付着したときは、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。万一、液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますので充分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

● スミアーについて

明るい被写体を写すと、液晶モニター画像に縦に尾を引いたような（上下が帯状に白く明るくなる）現象が発生することがあります。この現象をスミアー現象といい、故障ではありません。撮影された画像（動画を除く）には影響はありません。

● セルフタイマーランプ/AF補助光について

セルフタイマーランプ/AF補助光（🔍4、30、111）に使用されているLED（発光ダイオード）は、右記のIEC規格に準拠しています。

バッテリーについて

● 使用上のご注意

- 長時間お使いになったバッテリーは、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が０～40℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能劣化や故障の原因となります。充電は室温（5～35℃）で行ってください。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたときは、すぐに使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、必ず付属の端子カバーを付けてください。

● 充電について

撮影の前に、充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりませんので、ご注意ください。

- 充電が完了したバッテリーを、続けて再充電しないでください。バッテリー性能が劣化します。
- 充電直後にバッテリーの温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。
- カメラの使用直後など、バッテリー内部の温度が高くなっているときは、バッテリーの温度が下がるのを待ってから充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性能が劣化する原因となります。

● 予備バッテリーを用意する

撮影の際は、予備バッテリーをご用意ください。特に、日本国外の地域によっては入手が困難な場合がありますので、ご注意ください。

● 低温時のバッテリーについて

バッテリーは一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時にお使いになるときは、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

● 低温時には容量の充分なバッテリーを使い、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーをお使いになると、カメラが作動しないことがあります。低温時に撮影する場合は充分に充電されたバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互にお使いください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻るとお使いいただける場合があります。

● バッテリー接点について

バッテリーの接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがありますので、ご注意ください。

● 残量について

残量のなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなったバッテリーは、充電してからお使いください。

● 保管について

- お使いにならないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。カメラやバッテリーチャージャーに取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微小電流が流れ続けることで過放電になり、使用できなくなるおそれがあります。
- バッテリーをしばらくお使いにならないときは、使い切った状態で保管してください。
- 長期間保管するときは、年に1回程度、充電してから使い切り、保管してください。
- 付属の端子カバーを付けて、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15～25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。

● 寿命について

充分に充電したにもかかわらず、バッテリーの使用期間が極端に短くなってきたときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお求めください。

● リサイクルについて

充電を繰り返して劣化し使用できなくなったバッテリーは、再利用しますので廃棄しないでリサイクルにご協力ください。端子部にテープなどを貼り付けて絶縁させてから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へご持参ください。

警告メッセージ

画面に表示される警告メッセージの意味は、以下のとおりです。

表示	意味	対処法	📖
(点滅)	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定してください。	105
	電池の残量が少なくなりました。	バッテリーを充電または交換の準備をしてください。	12
電池残量がありません	電池の残量がありません。	バッテリーを充電または交換してください。	12
AF● (赤色点滅)	ピントを合わせることができません。	• ピントを合わせ直してください。 • フォーカスロック撮影をお試しください。	24、25 25
記録中 しばらくお待ちください	画像の記録中です。	記録が終了して警告表示が消灯するまでお待ちください。	25
カードがロックされています	SDカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。	「Lock」を解除してください。	19
カードが入っていません	SDカードを入れていない状態でPictmotionを選びました。	SDカードを入れてください。	18
このカードは使用できません カードに異常があります	SDカードへのアクセス異常です。	• 動作確認済みのカードを使ってください。 • カードの端子部分が汚れていないか確認してください。 • カードが正しく挿入されているか確認してください。	118 18 18
このカードは初期化されていません 初期化しますか? いいえ はい	SDカードが、COOLPIX S51用に初期化されていません。	[はい] を選んで OK ボタンを押し、SDカードを初期化してください。	19
メモリー残量がありません	データを記録する空き容量がありません。	• 画像モードを変更してください。 • 不要な画像や音声データを削除してください。 • SDカードを交換してください。 • SDカードをカメラから取り出し、内蔵メモリーを使ってください。	87 26、66、70 18 19

表示	意味	対処法	
画像を保存できません	画像記録中にエラーが発生しました。	内蔵メモリー/SDカードを初期化してください。	113
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。	• SDカードを交換してください。 • 内蔵メモリー/SDカードを初期化してください。	18 113
	オープニング画面に登録できない画像です。	トリミングやスモールピクチャーで作成した画像で、画像サイズが320×240以下のもの、および［画像モード］を［16:9］にして撮影した画像は、登録できません。	49、50、87
	画像コピー先の容量不足です。	コピー先の不要な画像を削除してください。	99
音声を登録できません	これ以上記録できないファイル番号に達しました。	• SDカードを交換してください。 • 内蔵メモリー/SDカードを初期化してください。	18 113
この画像は編集できません	編集された画像や16：9の画像、または動画をD-ライティングで補正しようとしました。	スモールピクチャー、トリミング、D-ライティングで作成した画像や16：9の画像、または動画は、D-ライティングで補正できません。	48
動画記録できません	SDカードに動画を記録するのに時間がかかっています。	画像記録処理の速いSDカードに交換してください。	118
撮影画像がありません	• 撮影済みの画像または録音済みの音声データがありません。	–	–
音声データがありません	• SDカードに画像または音声データが入っていません。	内蔵メモリーからSDカードにコピーする場合は、MENUボタンを押してください。［画像コピー］または［音声データコピー画面］が表示されます。	100、71
このファイルは表示できません	パソコンや他社のカメラで作成されたファイルです。	このカメラでは再生できません。	–
このデータは再生できません			

表示	意味	対処法	📖
❶ 表示可能な画像がありません	カレンダーモード/撮影日一覧モードで表示しようとした画像が、日時未設定です。	–	–
Pictmotion作成エラー	Pictmotion 作成中にエラーが発生しました。	最初から作成してください。	56
Pictmotion再生エラー	Pictmotion のデータが壊れています。	エラーが発生したPictmotionを削除してください。	58
❶ このファイルは削除できません	画像にプロテクトがかかっています。	プロテクトを解除してください。	99
❶ 自宅と訪問先が同じタイムゾーンです	自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定しました。	–	107
レンズエラー ❗	レンズの作動不良です。	電源を入れ直してください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	20
バリアーエラー ❗	レンズバリアーが開きません。	レンズバリアーが指などで押さえられているため、開きません。レンズバリアーから指を離し、電源を入れ直してください。	4、122
ⓘ 通信エラー	パソコンやプリンターとの通信中に、オーディオビデオ/USB ケーブルが外れました。	パソコンに警告メッセージが表示されたときは、[OK] をクリックしてNikon Transfer を終了してください。カメラの電源をOFF にしてケーブルを再接続してから、もう一度転送してください。	73、78
システムエラー ❗	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	電源をOFF にしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源をON にしてください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	14、20

表示	意味	対処法	📖
プリンターエラー プリンターを確認してください	プリンターに異常があります。	プリンターを確認し、エラーの原因を取り除いた後、[継続]を選んでOKボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー 用紙を確認してください	指定したサイズの用紙がセットされていません。	指定したサイズの用紙をセットした後、[継続]を選んでOKボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー 紙詰まりです	用紙が詰まりました。	詰まった用紙を取り除いた後、[継続]を選んでOKボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー 用紙がありません	用紙がセットされていません	指定したサイズの用紙をセットした後、[継続]を選んでOKボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー インクを確認してください	インクに異常があります。	インクを確認した後、[継続]を選んでOKボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー インクがありません	インクがなくなりました。	インクを交換した後、[継続]を選んでOKボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー ファイルが異常です	プリントする画像ファイルに異常があります。	[キャンセル]を選びOKボタンを押して、プリントを中止してください。	–

※ プリンターの使用説明書もあわせてご覧ください。

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

表示・設定・電源関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	参照ページ
液晶モニターに何も映らない	• 電源が入っていません。 • バッテリー残量がありません。 • 節電機能により待機状態になっています。シャッターボタンを半押ししてください。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。充電が完了するまでお待ちください。 • カメラとパソコンがオーディオビデオ /USB ケーブルで接続されています。 • カメラとテレビがオーディオビデオ /USB ケーブルで接続されています。	20 20 21、24 29 73 72
液晶モニターがよく見えない	• 液晶モニターの明るさを調整してください。 • 液晶モニターが汚れています。 • 節電機能により液晶モニターが約 50% の明るさになっています。	108 121 21
カメラの電源が突然切れる	• バッテリー残量がありません。 • 無操作状態が続いたため、オートパワーオフ機能が働きました。 • 低温下ではカメラやバッテリーが正常に動作しないことがあります。	20 123
撮影日時が正しく表示されない	• 日時を設定していない場合は（撮影時に時計マークが点滅している）、静止画の撮影日時が［0000/00/00　00:00］、動画の撮影日時や音声レコードの録音日時が［2007/01/01 00:00］と記録されます。［セットアップ］メニューの［日時設定］で日時を正しく設定してください。 • 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くないので、定期的に日時設定を行うことをおすすめします。	16 105
撮影情報や画像情報が表示されない	セットアップメニュー［モニター設定］の［モニター表示設定］が［情報OFF］になっています。	108
［デート写し込み］が選べない	セットアップメニュー［日時設定］が設定されていません。	16、105

こんなときは	考えられる原因や対処法	👁
［デート写し込み］を有効にしたのに、日付が写し込まれない	以下の場合は日付が写し込まれません。 • シーンモードが［パノラマアシスト］になっているとき • 動画	40 61
設定内容が初期状態に戻ってしまった	バックアップ電池が切れたため、設定がリセットされました。	106

●デジタルカメラの特性について

きわめて希に、液晶モニターに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。このような場合は、電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてみてください。これによってカメラが作動しなくなったときのデータは失われるおそれがありますが、すでに内蔵メモリーまたはSDカードに記録されているデータは失われません。この操作を行ってもカメラに不具合が続くときは、ニコンサービス機関にお問い合わせください。

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	👁
撮影できない	• 再生モードになっているときは、▶ ボタンまたはシャッターボタンを押してください。 • メニューが表示されているときは、MENU ボタンを押してください。 • バッテリー残量がありません。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。	26 10 20 29
ピントが合わない	• オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 • セットアップメニュー［AF 補助光］を［AUTO］にしてください。 • 電源を入れ直してください。	25 111 20
画像がぶれる	• フラッシュを使ってください。 • 高感度モードで撮影してください。 • 手ブレ補正機能を使ってください。 • BSS（ベストショットセレクター）を使ってください。 • 三脚などでカメラを安定させてください（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。	28 33 111 92 30
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュモードを⊛（発光禁止）にしてください。	29

付録

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
フラッシュが発光しない	• フラッシュモードが ⊛（発光禁止）になっています。 • フラッシュが発光しないシーンモードになっています。 • 🎥 モード（[ストップモーション] を除く）になっています。 • 撮影メニュー［連写］モードが［連写］か［マルチ連写］、または［BSS］が［ON］になっています。	28 34 61 91、92
光学ズームが使えない	動画撮影中は使えません。	61
電子ズームが使えない	撮影メニュー［連写］モードが［マルチ連写］のときは、電子ズームは使えません。	91
［画像モード］が選べない	撮影メニュー［連写］モードが［マルチ連写］のときは、設定できません。	91
シャッター音が鳴らない	• セットアップメニュー［操作音］の［シャッター音］が［OFF］になっています。 • 撮影メニューの連写モードが［連写］または［マルチ連写］になっている、または［BSS］が［ON］になっています。 • シーンモードが［スポーツ］、または［ミュージアム］になっています。 • 🎥 モード（[ストップモーション] を除く）になっています。	112 91、92 35、38 61
AF 補助光が発光しない	• セットアップメニュー［AF　補助光］が［OFF］になっています。 • 一部のシーンモードでは発光しません。	111 35～40
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	121
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスが選ばれていません。	89
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。 • フラッシュを使ってください。 • 低い ISO 感度にしてください。	28 93
画像が暗すぎる	• フラッシュモードが ⊛（発光禁止）になっています。 • フラッシュが指などでさえぎられています。 • 被写体にフラッシュの光が届いていません。 • 露出を補正してください。 • 高感度モードにするか、ISO 感度を上げてください。 • 逆光で撮影しています。シーンモードの［逆光］にするか、フラッシュモードを ⚡（強制発光）にしてください。	28 22 28 32 33、93 28、39

付録

こんなときは	考えられる原因や対処法	
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	32
赤目以外の部分が補正された	⚡◎（赤目軽減自動発光）やシーンモードの［夜景ポートレート］の赤目軽減スローシンクロ強制発光でフラッシュ撮影すると、ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。［夜景ポートレート］以外の撮影モードで、フラッシュモードを［赤目軽減自動発光］以外にして撮影してください。	28、36

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	
再生できない	• パソコンか他社製のカメラによって画像が上書きされたか、ファイル名やフォルダ名が変更されました。 • ストップモーション撮影中です。	–
画像の拡大表示ができない	動画やスモールピクチャー、320×240以下にトリミングされた画像は拡大表示できません。	–
音声メモを録音できない	動画には音声メモを付けられません。	66
D-ライティング、トリミング、スモールピクチャーができない	• 動画、および［画像モード］を［16:9］にして撮影した画像は、編集できません。 • D-ライティング、トリミング、スモールピクチャーが可能な条件を確認してください。 • 次のような場合は動作を保証していません。 - このカメラ以外で撮影した画像を編集する - このカメラで編集した画像をこのカメラ以外で再生する	66、87 47 –
Pictmotionの作成や再生ができない	次のような場合は動作を保証していません。 • このカメラ以外で撮影した画像を使ってPictmotion を作成する • このカメラ以外で作成したPictmotionを再生する • このカメラで作成したPictmotionをこのカメラ以外で再生する • このカメラで撮影した画像を使って、このカメラ以外で Pictmotion を作成する	–

こんなときは	考えられる原因や対処法	
Pictmotionの作成時に［ユーザー音楽］が使用できない	• SD カード内にユーザー音楽がありません。 • ユーザー音楽を保存した SD カードが初期化または交換されました。もう一度パソコンから BGM を追加してください。 • このカメラ以外で使用した SD カードにユーザー音楽を追加すると、BGM に使用できないことがあります。新しい SD カードに交換するか初期化して、もう一度パソコンから BGM を追加してください。	58、 18、 113
画像がテレビに映らない	• セットアップメニューの［ビデオ出力］が正しく設定されていません。 • 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。内蔵メモリーの画像を再生するときは SD カードを取り出してください。	114 18
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transferが自動起動しない	• カメラの電源が OFF になっています。 • バッテリー残量がありません。 • オーディオビデオ /USB ケーブルが正しく接続されていません。 • パソコンにカメラが正しく認識されていません。 • Nikon Transfer が自動起動しない設定になっています。 • パソコンのOSがWindows 2000 Professionalの場合は、カメラを接続できません。 Nikon Transferについては、Nikon Transferのヘルプをご参照ください。	20 20 73 — — 75
Pictmotion を転送できない	Mac OSでは、Pictmotionを転送できません。	—
プリントする画像が表示されない	画像が記録されていないSDカードが入っています。SDカードを交換してください。内蔵メモリーの画像をプリントするときはSDカードを取り出してください。	18
カメラ側で用紙設定ができない	PictBridge対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」を行うことができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。 • カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 • 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。	79、80

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX S51

項目		仕様
型式		コンパクトデジタルカメラ
有効画素数		8.1メガピクセル
撮像素子		1/2.5型原色CCD、総画素数8.28メガピクセル
レンズ		光学3倍 ズームニッコールレンズ
	焦点距離	6.3-18.9mm（35mm判換算38－114mm相当の撮影画角）
	絞り	F3.3-4.2
	レンズ構成	9群12枚
電子ズーム		最大4倍（35mm判換算で約456mm相当の撮影画角）
手ブレ補正		レンズシフト方式
オートフォーカス		コントラスト検出方式
	撮影距離	• レンズ前約 30 cm ～∞ • マクロモード時は約 4 cm（ズームのミドルポジション）～∞
	AFエリア	オート（5点）、中央、マニュアル（99点）
	AF補助光	クラス1 LED製品（IEC 60285-1 Edition 1.2-2001） 最大出力値4,300 µW
液晶モニター		3.0型TFT液晶、反射防止コート付き、230,000ドット 輝度調節機能付き（5段階）
	視野率（撮影時）	上下左右とも約100%（対実画面）
	視野率（再生時）	上下左右とも約100%（対実画面）
記録形式		
	記録媒体	内蔵メモリー（約13 MB）、SDメモリーカード
	画像ファイル	DCF、Exif 2.2、DPOF準拠
	ファイル形式	圧縮：JPEG-Baseline準拠 動画：AVI 音声：WAV
画像モード（記録画素数）		• 3,264 × 2,448［高画質（3264 ★）/ 標準（3264）］ • 2,592 × 1,944［標準（2592）］ • 2,048 × 1,536［エコノミー（2048）］ • 1,024 × 768［パソコン（1024）］ • 640 × 480［TV（640）］ • 3,200 × 1,800［16:9］ • 3,200 × 2,400（マルチ連写）
ISO感度（標準出力感度）		ISO 100、200、400、800、1600、オート（ISO 100～800）

項目		仕様
露出		
	測光方式	マルチパターン測光（224分割）、中央部重点測光（電子ズーム時）
	露出連動範囲（ISO 100）	広角側：0.5～16.4 EV 望遠側：1.2～17.1 EV
シャッター		メカニカルシャッターとCCD電子シャッターの併用
	シャッタースピード	1/2000～1秒、4 秒（シーンモードの［打ち上げ花火］）
絞り		電磁駆動による絞り開口選択方式
	制御段数	2（F3.3、F6.6［広角側］）
セルフタイマー		約10秒、約3秒
内蔵フラッシュ		
	調光範囲（ISO感度設定オート時）	約0.3～6 m（広角側） 約0.3～4 m（望遠側）
	調光方式	自動調光制御
インターフェース		Hi-Speed USB
通信プロトコル		MTP、PTP
ビデオ出力		NTSC、PALから選択可能
入出力端子		マルチコネクター端子（イメージリンク対応）
言語		日本語、英語の2言語
電源		Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL8（リチウムイオン充電池：付属）×1個 ACアダプター EH-64
撮影可能コマ数（電池寿命）※		約150コマ（EN-EL8使用時）
寸法（幅×高さ×奥行き）		約92.5×59×21 mm（突起部除く）
質量		約125 g（バッテリー、SDメモリーカード除く）
動作環境		
	使用温度	0～40 ℃
	使用湿度	85%以下（結露しないこと）

- 仕様中のデータは、すべて常温（25 ℃）、リチャージャブルバッテリーEN-EL8をフル充電で使用時のものです。

※ 電池寿命測定方法を定めたCIPA（カメラ映像機器工業会）規格によるものです。測定条件は、23(±2) ℃、撮影ごとにズーム、2回に1回の割合でのフラッシュ撮影、画像モード［標準（3264）］です。撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などにより、コマ数は変動することがあります。

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL8

形式	リチウムイオン充電池
定格容量	DC3.7V、730 mAh
使用温度	0～40 ℃
寸法 （幅×高さ×奥行き）	約35×47×5 mm
質量	約17 g（端子カバーを除く）

バッテリーチャージャー MH-62

電源	100－240V AC、50/60 Hz、0.09－0.051 A
定格入力容量	9－12.2 VA
充電出力	DC 4.2V、0.73 A
適用充電池	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL8
充電時間	約2 時間 （残量のない状態からの充電時間）
使用温度	0 ～40 ℃
寸法 （幅×高さ×奥行き）	約86×19.5× 59.2 mm（電源コードを除く）
電源コード	長さ約2 m、日本国内専用AC100V対応
質量	約60 g（電源コード除く）

ドックインサート PV-12

寸法 （幅×高さ×奥行き）	約135.5×17.5×63 mm（突起部除く）
質量	約28 g

使用説明書について

- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system (DCF)：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。
- DPOF (Digital Print Order Format)：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif (Exchangeable image file format) Version 2.2：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。
  この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報をいかして最適なプリント出力を得ることができます。
  詳しくはプリンターの使用説明書をご参照ください。
- PictBridge：デジタルカメラとプリンターのメーカー各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接プリントするための標準規格です。
- イメージリンク プリントシステム：デジタルカメラとプリンターをコードレスで接続して写真をプリントするための規格です。
  デジタルカメラをプリンタードックにのせれば、ワンボタンで簡単にプリントできます。

索引

英数・マーク

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

ワ

アフターサービスについて

■この製品の操作方法や修理についてのお問い合わせは

この製品の操作方法や修理について、ご質問がございましたら、ニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

- ニコンカスタマーサポートセンターにつきましては、使用説明書裏面をご覧ください。

●お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAXまたは郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■修理を依頼される場合は

ご購入店、またはニコンサービス機関にご依頼ください。

- ニコンサービス機関につきましては、「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。
- ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は最寄りの販売店、またはニコンサービス機関にご相談ください。
- 修理に出されるときに、SDカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ご購入店またはニコンサービス機関へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社ホームページでご覧いただくことができます。

  http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行

FAX:(03)5977-7499

【お問い合わせ承り書】 太枠内のみご記入ください

お問い合わせ日：　　　　年　　月　　日

お買い上げ日：　　　　年　　月　　日

製品名：　　　　シリアル番号：

フリガナ
お名前：

連絡先ご住所：□自宅　　□会社
〒

TEL:
FAX:

ご使用のパソコンの機種名：

メモリー容量：　　　　ハードディスクの空き容量：

OS のバージョン：　　　　ご使用のインターフェースカード名：

その他接続している周辺機器名：

ご使用のアプリケーションソフト名：

ご使用の当社ソフトウェアのバージョン名：

問題が発生した時の症状、表示されたメッセージ、症状の発生頻度：
（おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください）

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：

製品の使い方と修理に関するお問い合わせ

＜ニコンカスタマーサポートセンター＞

全国共通電話番号 **0570-02-8000** にお電話を頂き、音声によるご案内に従いご利用窓口の番号を入力して頂ければ、お問い合わせ窓口担当者よりご質問にお答えさせて頂きます。

☎ **0570-02-8000**
市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30〜18:00（年末年始、夏期休業等を除く毎日）
携帯電話、PHS、IP電話等をご使用の場合は、（03）5977-7033 におかけください。
FAXでのご相談は、（03）5977-7499 におかけください。

修理サービスのご案内

修理サービスのご案内を下記URLにて行っております。
インターネットを利用して修理の申し込みができます。
「修理見積もり」、「修理状況」、「納期」などもご確認できますのでご利用ください。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/service/repair/index.htm

＜インターネットをご利用できない方の修理品送り先＞

ニコンカメラ販売（株）修理センター　〒230-0052　横浜市鶴見区生麦2−2−26　電話：（045）500−3050

営業時間：9:30〜17:30（土、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業など弊社定休日を除く毎日）

- 修理センターではご来所の方の窓口がございません。送付のみの対応となりますのでご了承ください。

株式会社ニコン・ニコンカメラ販売株式会社

Printed in China
YP7H02(10)
6MA34010-02